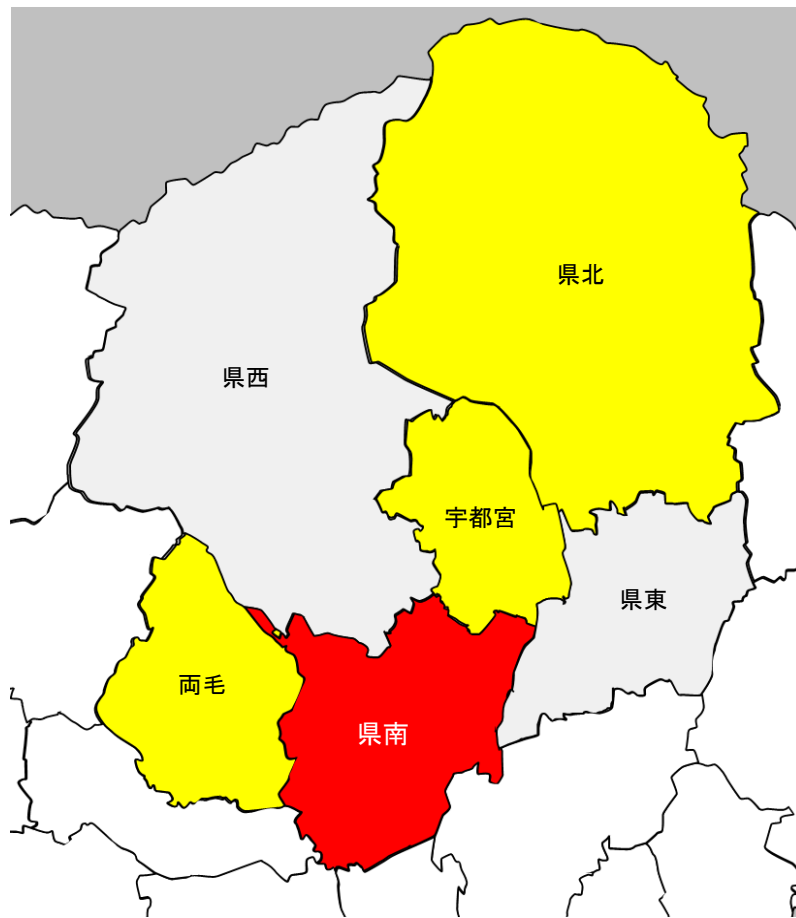


9. 栃木県

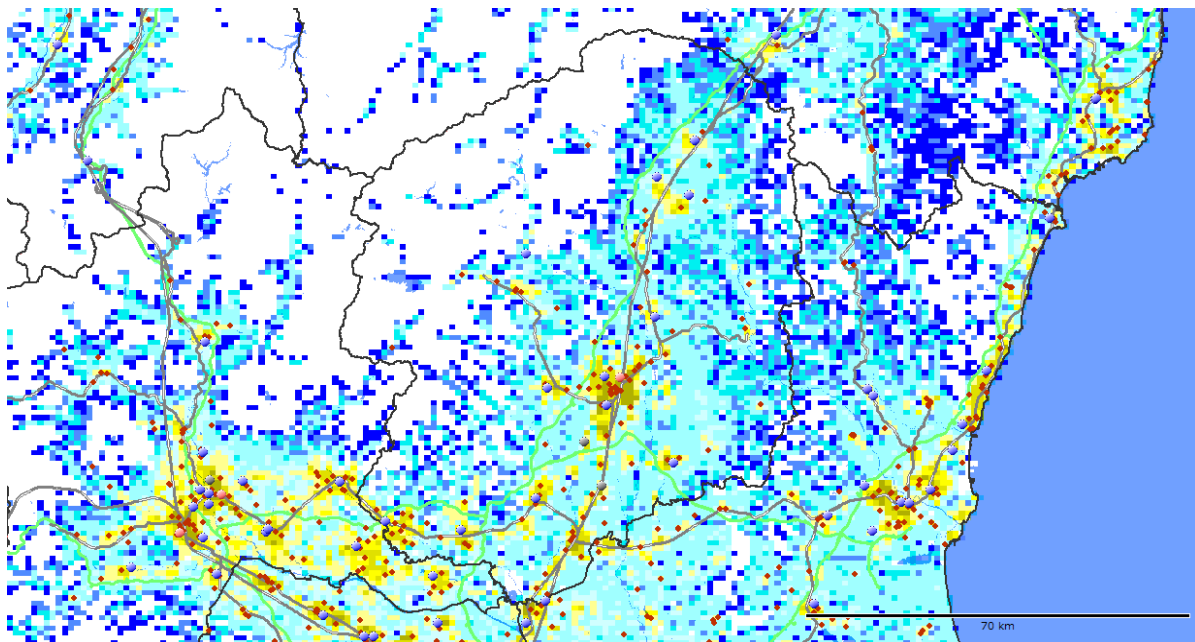


目次

栃木県	9 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	9 - 8
1. 県北医療圏	9 - 20
2. 県西医療圏	9 - 25
3. 県東医療圏	9 - 30
4. 宇都宮医療圏	9 - 35
5. 県南医療圏	9 - 40
6. 両毛医療圏	9 - 45

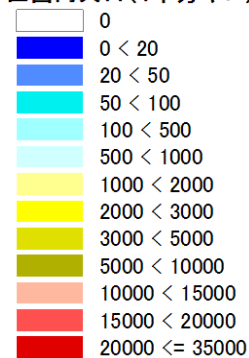
9. 栃木県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(栃木県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 栃木県は、総人口約1,974千人(2015年)、面積6,408km²、人口密度は308人/km²である。

*人口の将来予測： 栃木県の総人口は2025年に1,873千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1,647千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の240千人が、2025年にかけて320千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には341千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 栃木県の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値43)、介護給付費は226千円(偏差値42)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 栃木県の一人当たり急性期医療密度指数は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は0.85で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数48、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 栃木県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22,953人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14,630床(偏差値50)、高齢者住宅等が8,323床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18,971人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム44、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,240人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

栃木県の総人口は、2005年2,016,631人が、2015年に1,974,255人と2%減少し、2025年の人口が1,872,842人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

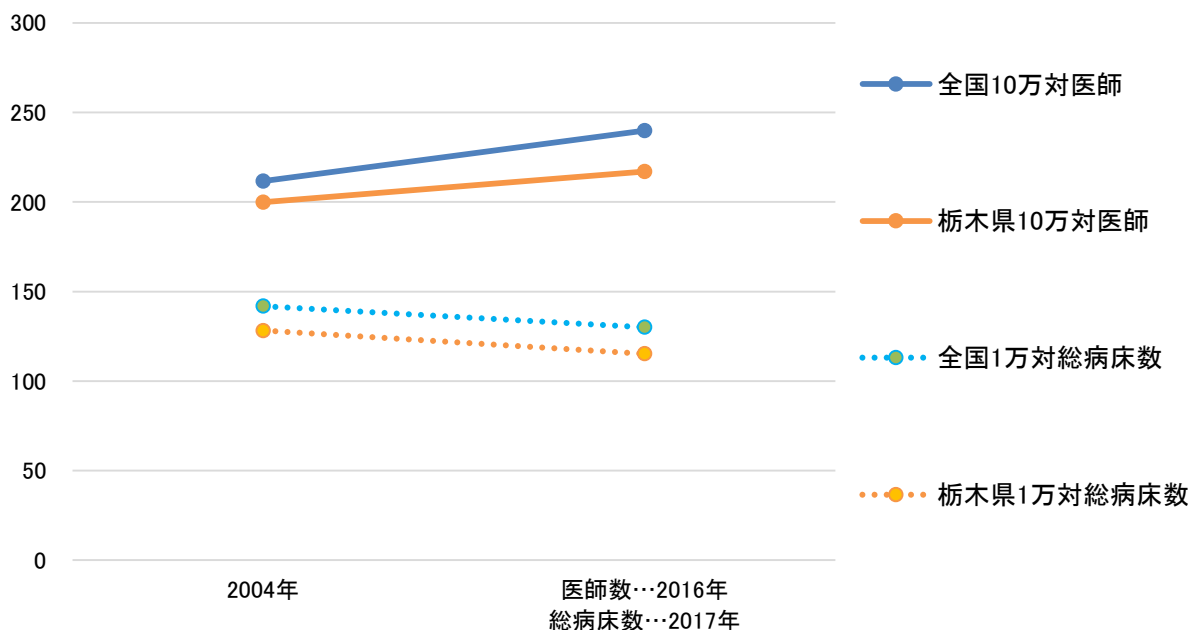
2004年の病院数が118(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に107(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が1,358(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に1,442(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、84診療所が増加した。

2004年の総病床数が25,855床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に22,762床(人口1万人当たり115(全国平均130)偏差値47)と、3,093床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

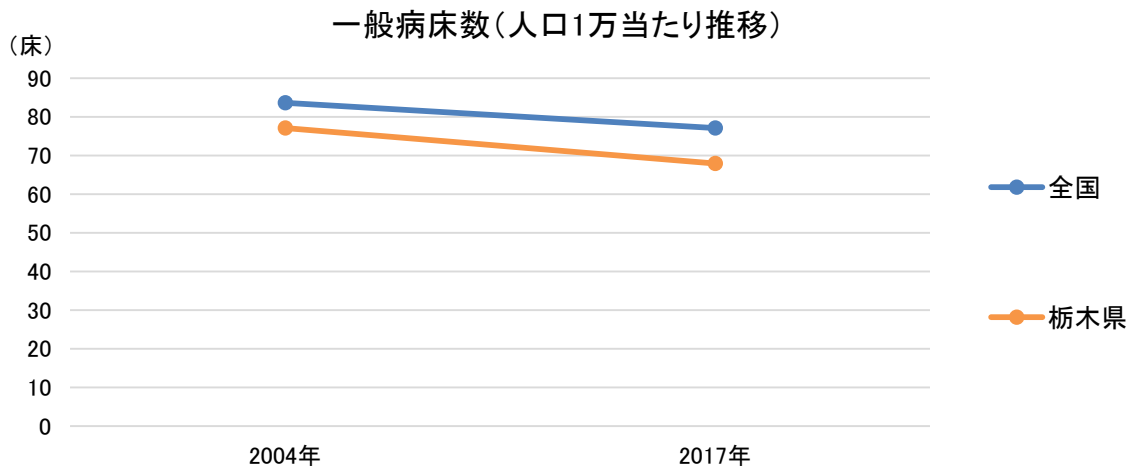
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,030人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に4,285人(人口10万人当たり217人(全国平均240人)偏差値47)と、255人の増加、率にして6%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



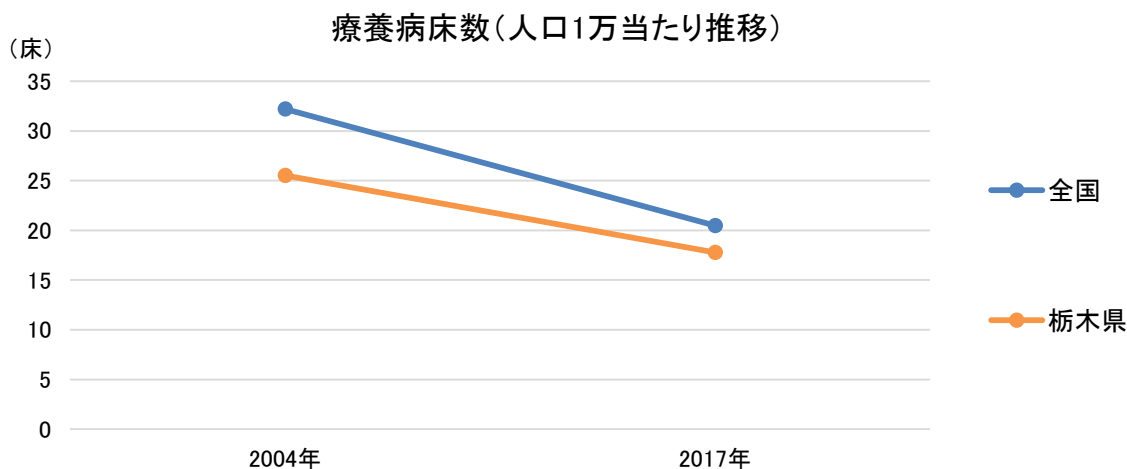
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15,549床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2017年に13,418床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、2,131床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



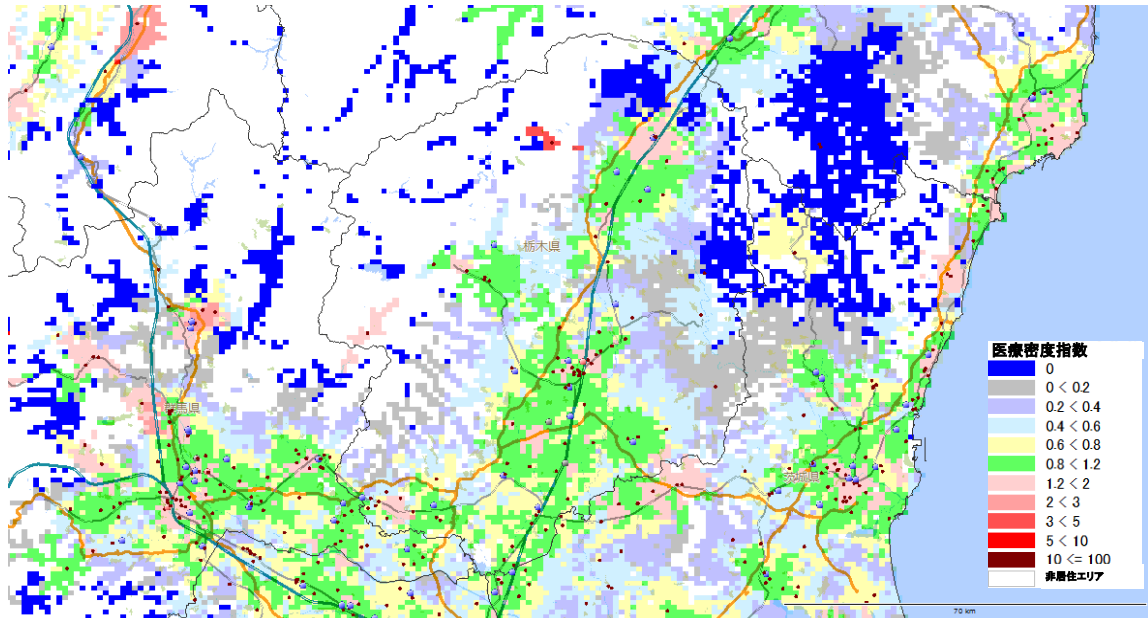
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,690床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に4,267床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、423床の減少、率にして9%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



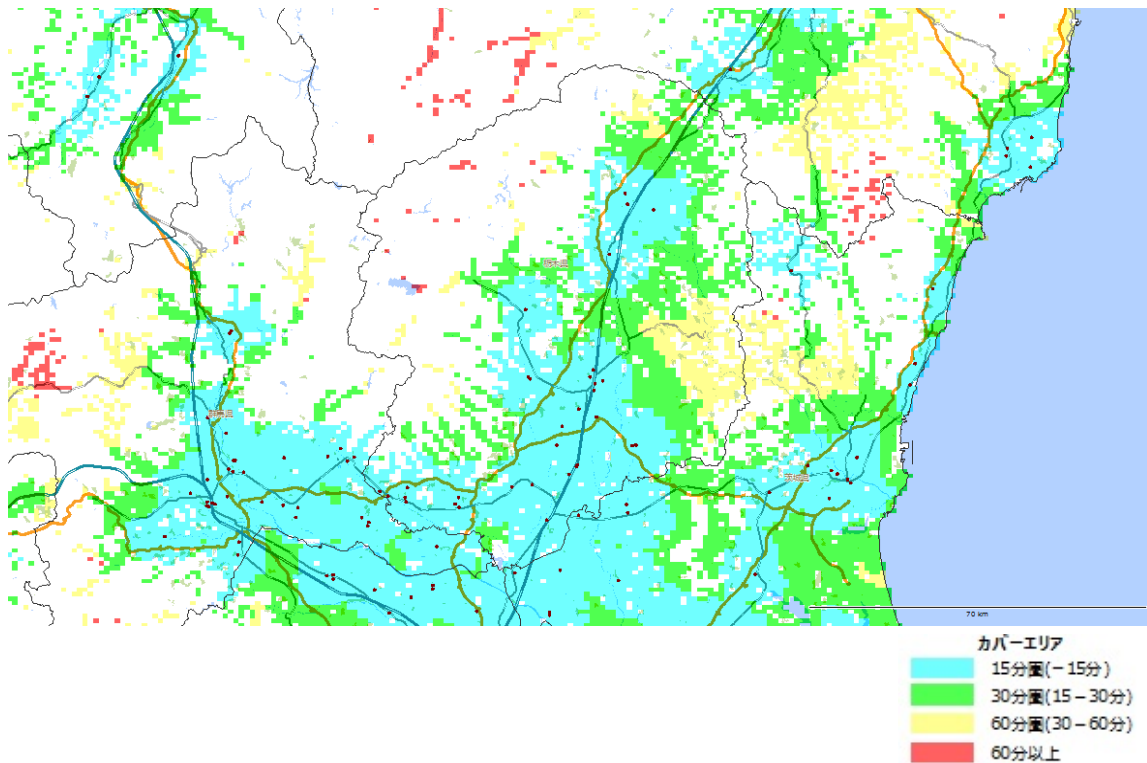
(栃木県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 9-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
栃木県	1,974	18位	6,408	20位	308.1		26%	1,873	1,647	240	320	341	-5%	-12%	33%	7%
県北	381	19%	2,230	35%	170.8	地方都市型	27%	352	296	50	64	71	-8%	-16%	28%	11%
県西	182	9%	1,940	30%	93.7	過疎地域型	30%	160	126	27	32	33	-12%	-21%	19%	3%
県東	143	7%	564	9%	253.5	地方都市型	26%	128	104	18	23	26	-10%	-19%	28%	13%
宇都宮	519	26%	417	7%	1,244.1	地方都市型	23%	521	495	53	77	82	0%	-5%	45%	6%
県南	482	24%	724	11%	665.7	地方都市型	25%	464	417	55	76	83	-4%	-10%	38%	9%
両毛	268	14%	534	8%	502.8	地方都市型	29%	248	210	37	48	46	-7%	-15%	30%	-4%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 9-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
栃木県	0.85	0.85	18,950	26,234	-38.4%
県北	0.75	0.79	3,759	5,189	-38.0%
県西	0.81	1.06	2,195	2,689	-22.5%
県東	0.88	0.55	1,355	1,892	-39.6%
宇都宮	0.84	0.91	4,221	6,544	-55.0%
県南	0.64	0.75	4,544	6,130	-34.9%
両毛	0.99	1.10	2,876	3,791	-31.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 9-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
栃木県	318	43	0.921	116	44	0.871	181	46	0.963	226	42
県北	311	42	0.906	119	45	0.896	172	41	0.924	234	45
県西	330	46	0.938	126	47	0.926	183	47	0.956	224	42
県東	303	40	0.891	112	43	0.851	171	40	0.924	231	44
宇都宮	323	45	0.949	116	44	0.889	184	48	0.997	207	37
県南	321	44	0.927	113	43	0.843	188	50	0.997	230	44
両毛	312	42	0.891	111	43	0.822	180	45	0.942	237	46
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 9-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
栃木県	814	41	0.875	380	42	0.819	408	45	0.943
県北	817	41	0.874	414	45	0.879	382	38	0.886
県西	878	47	0.937	443	48	0.940	411	46	0.951
県東	766	37	0.817	356	40	0.752	387	40	0.899
宇都宮	848	44	0.927	397	44	0.876	421	48	0.985
県南	775	38	0.836	328	37	0.711	420	48	0.975
両毛	794	40	0.848	354	39	0.757	414	47	0.948
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 9-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
栃木県	107	1.3%	5.4	47	1,442	1.4%	73	46
県北	21	20%	5.5	48	226	16%	59	39
県西	11	10%	6.1	49	117	8%	64	42
県東	31	29%	21.7	83	99	7%	69	44
宇都宮	5	5%	1.0	38	429	30%	83	52
県南	22	21%	4.6	45	367	25%	76	48
両毛	17	16%	6.3	49	204	14%	76	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 9-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
栃木県	1,442	1.4%	73	46	1,328	1.4%	67	46	114	1.6%	5.8	50
県北	226	16%	59	39	207	16%	54	39	19	17%	5.0	49
県西	117	8%	64	42	103	8%	57	41	14	12%	7.7	53
県東	99	7%	69	44	90	7%	63	44	9	8%	6.3	51
宇都宮	429	30%	83	52	391	29%	75	51	38	33%	7.3	53
県南	367	25%	76	48	347	26%	72	49	20	18%	4.2	47
両毛	204	14%	76	48	190	14%	71	48	14	12%	5.2	49
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 9-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
栃木県	21,105	1.4%	1,069	47	1,657	1.7%	84	51	22,762	1.4%	1,153	47
県北	3,854	18%	1,012	46	297	18%	78	50	4,151	18%	1,090	46
県西	1,779	8%	979	45	219	13%	120	55	1,998	9%	1,099	46
県東	988	5%	691	39	143	9%	100	52	1,131	5%	791	41
宇都宮	6,334	30%	1,221	50	499	30%	96	52	6,833	30%	1,318	50
県南	5,129	24%	1,065	47	314	19%	65	49	5,443	24%	1,130	47
両毛	3,021	14%	1,126	48	185	11%	69	49	3,206	14%	1,195	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 9-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
栃木県	11,833	1.3%	599	45	4,195	1.3%	212	48	5,004	1.5%	253	50
県北	1,958	17%	514	42	796	19%	209	48	1,094	22%	287	51
県西	863	7%	475	40	456	11%	251	50	456	9%	251	50
県東	566	5%	396	36	181	4%	127	44	240	5%	168	46
宇都宮	2,976	25%	574	44	1,442	34%	278	51	1,880	38%	363	55
県南	3,732	32%	775	53	730	17%	152	45	660	13%	137	44
両毛	1,738	15%	648	48	590	14%	220	48	674	13%	251	50
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 9-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
栃木県	993	1.2%	50	47	745	1.0%	38	47
県北	243	24%	64	50	154	21%	40	47
県西	28	3%	15	40	106	14%	58	50
県東	20	2%	14	39	16	2%	11	43
宇都宮	239	24%	46	46	68	9%	13	43
県南	363	37%	75	53	291	39%	60	50
両毛	100	10%	37	44	110	15%	41	47
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 9-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
栃木県	4,955	4,335	196	16,078	7,436	3,995	36.8%	47	4.7%	50
県北	610	554	50	3,244	1,406	744	28.3%	44	6.3%	50
県西	352	302	0	1,412	554	454	35.3%	47	0.0%	48
県東	369	368	0	619	198	181	65.0%	58	0.0%	48
宇都宮	2,238	1,935	46	4,083	1,028	1,396	65.3%	58	3.2%	49
県南	300	300	0	4,857	3,460	730	8.0%	36	0.0%	48
両毛	1,086	876	100	1,863	790	490	52.6%	53	16.9%	55
出典	地方厚生局指定一覽平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 9-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
栃木県	31,116	0.8%	1,576	44	15,000	1.6%	760	51
県北	4,056	13%	1,065	42	2,736	18%	718	50
県西	1,116	4%	614	40	660	4%	363	36
県東	852	3%	596	40	912	6%	638	47
宇都宮	10,380	33%	2,002	46	4,008	27%	773	52
県南	11,208	36%	2,327	47	4,128	28%	857	55
両毛	3,504	11%	1,306	43	2,556	17%	952	59
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 9-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
栃木県	4,285	1.4%	217	47	2,830	1.4%	143	48	1,455	1.4%	74	47
県北	536	13%	141	39	328	12%	86	40	208	14%	55	39
県西	252	6%	139	39	134	5%	74	38	118	8%	65	43
県東	160	4%	112	36	65	2%	45	34	95	7%	66	44
宇都宮	1,006	23%	194	45	530	19%	102	42	476	33%	92	55
県南	1,861	43%	386	66	1,506	53%	313	71	355	24%	74	47
両毛	470	11%	175	43	267	9%	99	42	203	14%	76	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 9-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
栃木県	293	1.3%	14.8	47	183	1.4%	9.3	47	165	1.5%	8.4	49
県北	29	10%	7.6	39	27	15%	7.1	42	29	18%	7.6	47
県西	18	6%	9.9	41	8	4%	4.4	37	5	3%	2.8	35
県東	9	3%	6.3	38	7	4%	4.9	38	6	4%	4.2	38
宇都宮	64	22%	12.3	44	38	21%	7.3	43	35	21%	6.7	45
県南	140	48%	29.1	62	79	43%	16.4	62	67	41%	13.9	63
両毛	33	11%	12.3	44	24	13%	8.9	46	23	14%	8.6	49
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 9-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
栃木県	76	1.4%	3.8	47	124	1.3%	6.3	46	106	1.4%	5.4	47
県北	8	11%	2.1	39	17	14%	4.5	40	13	12%	3.4	40
県西	6	8%	3.3	45	9	7%	5.0	42	7	7%	3.9	42
県東	4	5%	2.8	43	4	3%	2.8	35	4	4%	2.8	38
宇都宮	21	28%	4.0	48	33	27%	6.4	46	29	27%	5.6	48
県南	28	37%	5.8	56	41	33%	8.5	52	41	39%	8.5	59
両毛	9	12%	3.4	45	20	16%	7.5	49	12	11%	4.5	44
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 9-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
栃木県	103	1.1%	5.2	44	332	1.6%	16.8	50	203	1.2%	10.3	44
県北	20	19%	5.3	44	38	11%	10.0	41	23	11%	6.0	35
県西	3	3%	1.7	34	17	5%	9.4	40	9	4%	5.0	33
県東	1	1%	0.7	31	14	4%	9.8	40	6	3%	4.2	31
宇都宮	26	25%	5.0	44	78	23%	15.0	48	57	28%	11.0	46
県南	36	35%	7.5	51	144	43%	29.9	69	83	41%	17.2	59
両毛	17	17%	6.3	47	41	12%	15.3	48	25	12%	9.3	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 9-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
栃木県	77	1.3%	3.9	46	78	1.2%	4.0	44	55	1.0%	2.8	44
県北	8	10%	2.1	38	10	13%	2.6	39	4	7%	1.1	39
県西	6	8%	3.3	43	2	3%	1.1	32	1	2%	0.6	37
県東	4	5%	2.8	41	3	4%	2.1	36	3	5%	2.1	42
宇都宮	17	22%	3.3	43	22	28%	4.2	45	9	16%	1.7	41
県南	34	44%	7.1	61	38	49%	7.9	61	32	58%	6.6	57
両毛	8	10%	3.0	42	3	4%	1.1	32	6	11%	2.2	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 9-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
栃木県	108	1.5%	5.5	50	23	1.4%	1.2	49	61	1.6%	3.1	51
県北	12	11%	3.2	43	3	13%	0.8	45	10	16%	2.6	48
県西	6	6%	3.3	43	1	4%	0.6	43	2	3%	1.1	40
県東	5	5%	3.5	44	0	0%	0	37	3	5%	2.1	45
宇都宮	23	21%	4.4	46	7	30%	1.3	51	16	26%	3.1	51
県南	51	47%	10.6	65	11	48%	2.3	60	28	46%	5.8	65
両毛	11	10%	4.1	45	1	4%	0.4	41	2	3%	0.7	38
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 9-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
栃木県	26	1.2%	1.3	47	35	1.4%	1.8	49
県北	2	8%	0.5	41	6	17%	1.6	47
県西	3	12%	1.7	50	0	0%	0	36
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宇都宮	9	35%	1.7	50	12	34%	2.3	52
県南	9	35%	1.9	51	14	40%	2.9	57
両毛	3	12%	1.1	45	3	9%	1.1	44
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 9-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
栃木県	16,762	1.5%	849	48	12,736	1.4%	645	47	4,026	1.8%	204	54
県北	2,856	17%	750	45	2,211	17%	580	44	645	16%	169	49
県西	1,273	8%	700	43	975	8%	536	42	298	7%	164	48
県東	851	5%	596	39	550	4%	385	36	301	7%	211	55
宇都宮	4,612	28%	889	50	3,332	26%	642	47	1,280	32%	247	60
県南	4,928	29%	1,023	54	3,965	31%	823	54	963	24%	200	53
両毛	2,243	13%	836	48	1,704	13%	635	46	539	13%	201	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 9-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
栃木県	1,642	1.2%	83	45	3,934	1.3%	199	46
県北	388	24%	102	49	590	15%	155	42
県西	128	8%	70	43	296	8%	163	42
県東	46	3%	32	36	240	6%	168	43
宇都宮	431	26%	83	45	1,213	31%	234	50
県南	495	30%	103	49	1,083	28%	225	49
両毛	156	9%	58	41	512	13%	191	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 9-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
栃木県	147	1.0%	0.6	44	6	0.4%	0.0	41	99	0.9%	0.4	38
県北	35	24%	0.7	46	0	0%	0	38	18	18%	0.4	36
県西	4	3%	0.1	33	0	0%	0	38	8	8%	0.3	33
県東	11	7%	0.6	44	0	0%	0	38	5	5%	0.3	32
宇都宮	31	21%	0.6	43	2	33%	0.0	43	27	27%	0.5	42
県南	46	31%	0.8	49	4	67%	0.1	48	25	25%	0.5	40
両毛	20	14%	0.5	42	0	0%	0	38	16	16%	0.4	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 9-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
栃木県	22,953	1.4%	96	45	14,630	1.5%	61	50	8,323	1.2%	35	45
県北	4,630	20%	93	44	2,914	20%	59	48	1,716	21%	35	45
県西	2,456	11%	92	43	1,796	12%	67	55	660	8%	25	39
県東	1,598	7%	87	40	1,163	8%	63	52	435	5%	24	38
宇都宮	5,517	24%	103	50	3,199	22%	60	49	2,318	28%	43	51
県南	5,340	23%	97	46	3,486	24%	64	52	1,854	22%	34	44
両毛	3,412	15%	92	43	2,072	14%	56	45	1,340	16%	36	46
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 9-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
栃木県	5,667	1.5%	24	52	8,455	1.5%	35	50	508	0.9%	2.1	46
県北	1,145	20%	23	51	1,629	19%	33	48	140	28%	2.8	48
県西	774	14%	29	61	972	11%	36	51	50	10%	1.9	45
県東	520	9%	28	60	643	8%	35	50	0	0%	0	41
宇都宮	1,038	18%	19	45	1,843	22%	35	49	318	63%	6.0	56
県南	1,394	25%	25	55	2,092	25%	38	53	0	0%	0	41
両毛	796	14%	21	48	1,276	15%	34	49	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
栃木県	1,125	0.5%	4.7	41	683	2.9%	2.8	57	2,199	1.1%	9.2	44
県北	196	17%	4.0	40	71	10%	1.4	50	528	24%	10.6	47
県西	100	9%	3.7	40	40	6%	1.5	50	231	11%	8.6	44
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	7%	8.8	44
宇都宮	255	23%	4.8	41	380	56%	7.1	77	387	18%	7.3	41
県南	302	27%	5.5	42	100	15%	1.8	52	540	25%	9.8	46
両毛	272	24%	7.3	43	92	13%	2.5	55	351	16%	9.4	45
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
栃木県	4,316	1.9%	18.0	55	313	1.4%	1.3	50	4,003	1.9%	16.7	56
県北	921	21%	18.6	56	50	16%	1.0	48	871	22%	17.6	57
県西	289	7%	10.8	45	28	9%	1.0	48	261	7%	9.7	45
県東	273	6%	14.8	51	30	10%	1.6	52	243	6%	13.2	51
宇都宮	1,296	30%	24.3	64	0	0%	0	43	1,296	32%	24.3	67
県南	912	21%	16.6	53	116	37%	2.1	54	796	20%	14.5	52
両毛	625	14%	16.8	54	89	28%	2.4	56	536	13%	14.4	52
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 9-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
栃木県	2,176	1.3%	9.1	44	1,704	1.4%	7.1	49	473	0.9%	2.0	39
県北	450	21%	9.1	44	372	22%	7.5	51	78	16%	1.6	35
県西	195	9%	7.3	36	172	10%	6.4	45	24	5%	0.9	29
県東	120	6%	6.5	33	99	6%	5.4	40	21	5%	1.2	31
宇都宮	587	27%	11.0	52	452	27%	8.5	56	135	29%	2.5	44
県南	516	24%	9.4	45	383	22%	7.0	48	133	28%	2.4	43
両毛	308	14%	8.3	40	226	13%	6.1	44	82	17%	2.2	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
栃木県	21,211	1.4%	88	47	18,971	1.5%	79	50	2,240	1.0%	9.3	42
県北	4,265	20%	86	45	3,924	21%	79	50	341	15%	6.9	38
県西	2,268	11%	85	44	2,082	11%	78	49	186	8%	6.9	38
県東	1,484	7%	81	41	1,398	7%	76	48	86	4%	4.7	34
宇都宮	4,473	21%	84	43	3,757	20%	70	42	716	32%	13.4	50
県南	5,177	24%	94	52	4,646	24%	85	55	531	24%	9.7	43
両毛	3,544	17%	95	52	3,164	17%	85	56	380	17%	10.2	44
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
栃木県	10,698	0.9%	45	41	4,094	0.8%	17	39	14,832	1.2%	62	45
県北	1,388	13%	28	37	629	15%	13	36	2,164	15%	44	38
県西	260	2%	10	31	191	5%	7	32	1,383	9%	52	41
県東	420	4%	23	35	187	5%	10	34	663	4%	36	35
宇都宮	2,346	22%	44	41	1,129	28%	21	42	4,492	30%	84	54
県南	3,557	33%	65	47	1,266	31%	23	44	3,394	23%	62	45
両毛	2,727	25%	73	49	692	17%	19	40	2,736	18%	74	50
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
栃木県		2,016,631	1,974,255	-2%	1,872,842	-7%	10%	5%	15%
県北	地方都市型	393,210	380,922	-3%	351,512	-11%	8%	4%	13%
県西	過疎地域型	198,439	181,760	-8%	160,047	-19%	3%	-1%	2%
県東	地方都市型	153,253	142,917	-7%	128,333	-16%	3%	2%	5%
宇都宮	地方都市型	502,396	518,594	3%	520,882	4%	16%	9%	26%
県南	地方都市型	485,651	481,691	-1%	464,271	-4%	12%	7%	20%
両毛	地方都市型	283,682	268,371	-5%	247,797	-13%	7%	1%	9%
出典	<人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 9-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
栃木県	118	5.9	47	107	5.4	47	-11	-9%
県北	22	5.6	46	21	5.5	48	-1	-5%
県西	12	6.0	47	11	6.1	49	-1	-8%
県東	5	3.3	40	31	21.7	83	26	520%
宇都宮	34	6.8	49	5	1.0	38	-29	-85%
県南	27	5.6	46	22	4.6	45	-5	-19%
両毛	18	6.3	48	17	6.3	49	-1	-6%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 9-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
栃木県	1,358	67	46	1,442	73	46	84	6%
県北	222	56	40	226	59	39	4	2%
県西	107	54	39	117	64	42	10	9%
県東	93	61	42	99	69	44	6	6%
宇都宮	414	82	53	429	83	52	15	4%
県南	324	67	45	367	76	48	43	13%
両毛	198	70	47	204	76	48	6	3%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 9-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
栃木県	4,030	200	49	4,285	217	47	255	6%
県北	505	128	40	536	141	39	31	6%
県西	246	124	40	252	139	39	6	2%
県東	169	110	38	160	112	36	-9	-5%
宇都宮	940	187	47	1,006	194	45	66	7%
県南	1,735	357	67	1,861	386	66	126	7%
両毛	435	153	43	470	175	43	35	8%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 9-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
栃木県	25,855	128	48	22,762	115	47	-3,093	-12%
県北	4,614	117	46	4,151	109	46	-463	-10%
県西	2,510	126	47	1,998	110	46	-512	-20%
県東	1,264	82	39	1,131	79	41	-133	-11%
宇都宮	7,718	154	52	6,833	132	50	-885	-11%
県南	6,163	127	47	5,443	113	47	-720	-12%
両毛	3,586	126	47	3,206	119	48	-380	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 9-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
栃木県	15,549	77	48	13,418	68	46	-2,131	-14%
県北	2,548	65	43	2,239	59	43	-309	-12%
県西	1,264	64	43	1,078	59	43	-186	-15%
県東	812	53	39	693	48	39	-119	-15%
宇都宮	4,009	80	49	3,459	67	46	-550	-14%
県南	4,673	96	54	4,026	84	52	-647	-14%
両毛	2,243	79	48	1,923	72	48	-320	-14%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 9-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

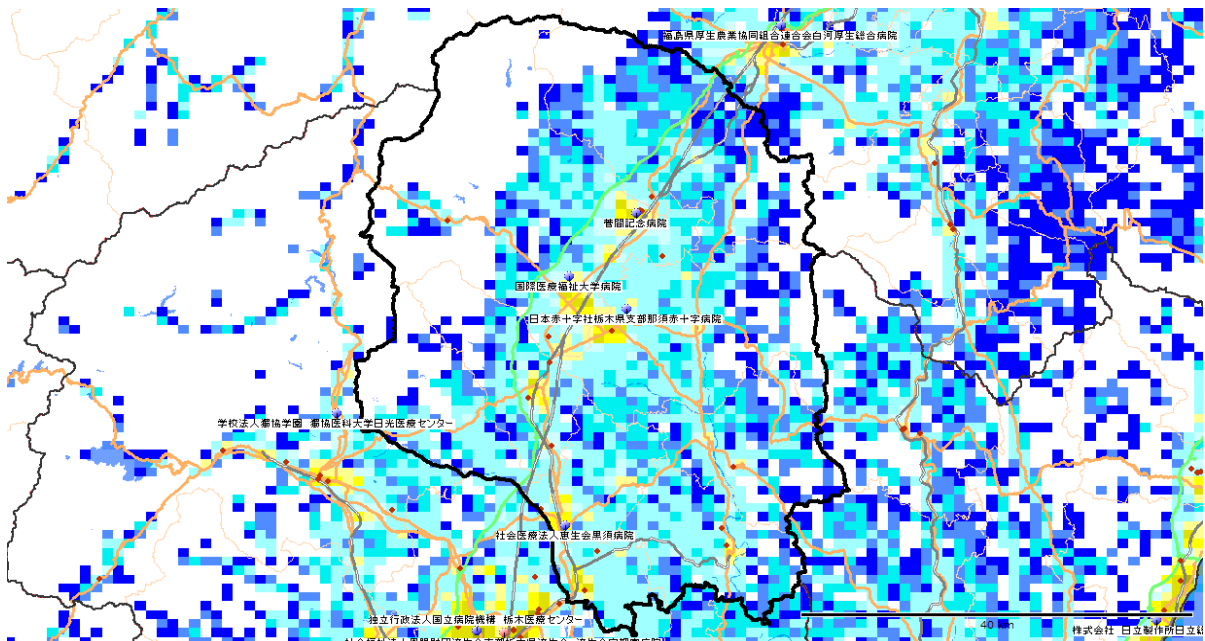
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
栃木県	4,690	26	46	4,267	18	48	-423	-9%
県北	946	24	46	812	16	46	-134	-14%
県西	686	31	49	460	17	47	-226	-33%
県東	197	12	39	197	11	41	0	0%
宇都宮	1,548	42	55	1,458	27	56	-90	-6%
県南	698	17	41	750	14	44	52	7%
両毛	615	21	44	590	16	46	-25	-4%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

9-1. けんほく 県北医療圏

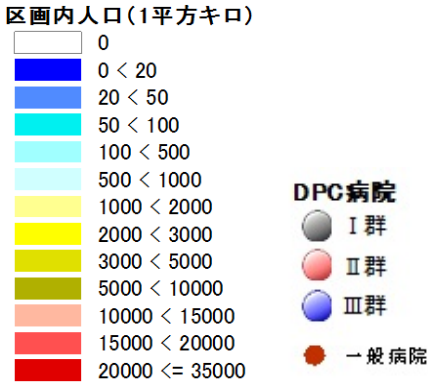
構成市区町村 [大田原市](#) [矢板市](#) [那須塩原市](#) [さくら市](#)
[那須烏山市](#) [塩谷町](#) [高根沢町](#) [那須町](#)
[那珂川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県北(大田原市)は、総人口約381千人(2015年)、面積2,230km²、人口密度は171人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県北の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に296千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には71千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県北の一人当たり医療費(国保)は311千円(偏差値42)、介護給付費は234千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県北の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の那須赤十字病院(Ⅲ群・救命)、国際医療福祉大学病院(I群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,630人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,914床(偏差値48)、高齢者住宅等が1,716床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,924人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム47、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、341人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県北医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県北医療圏の総人口は、2005年393,210人が、2015年に380,922人と3%減少し、2025年の人口が351,512人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

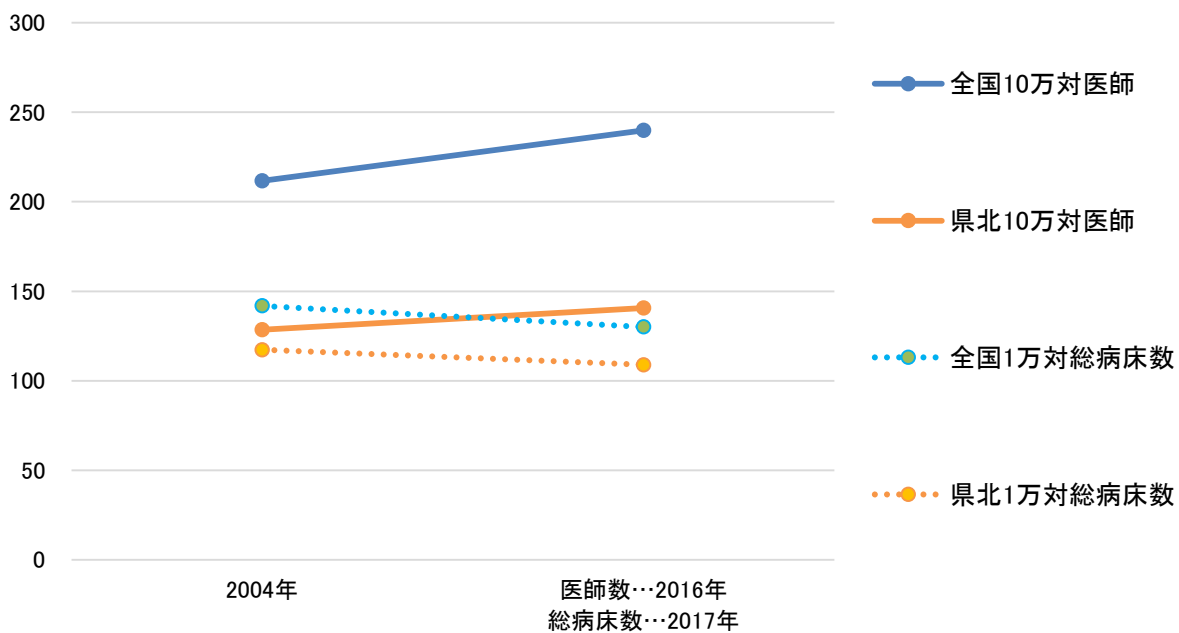
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に21(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が222(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に226(人口10万人当たり59診療所(全国平均80)偏差値39)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,614床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2017年に4,151床(人口1万人当たり109(全国平均130)偏差値46)と、463床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

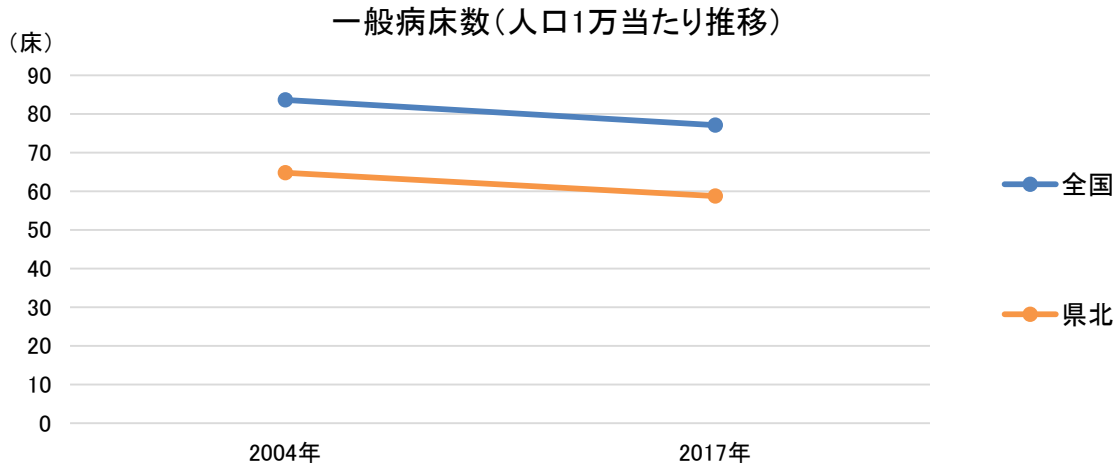
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が505人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に536人(人口10万人当たり141人(全国平均240人)偏差値39)と、31人の増加、率にして6%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



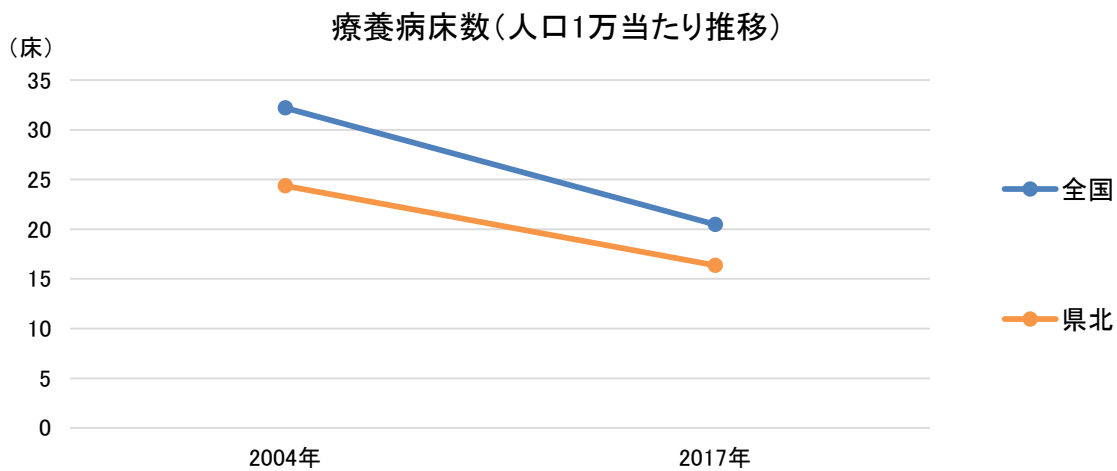
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,548床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に2,239床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、309床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



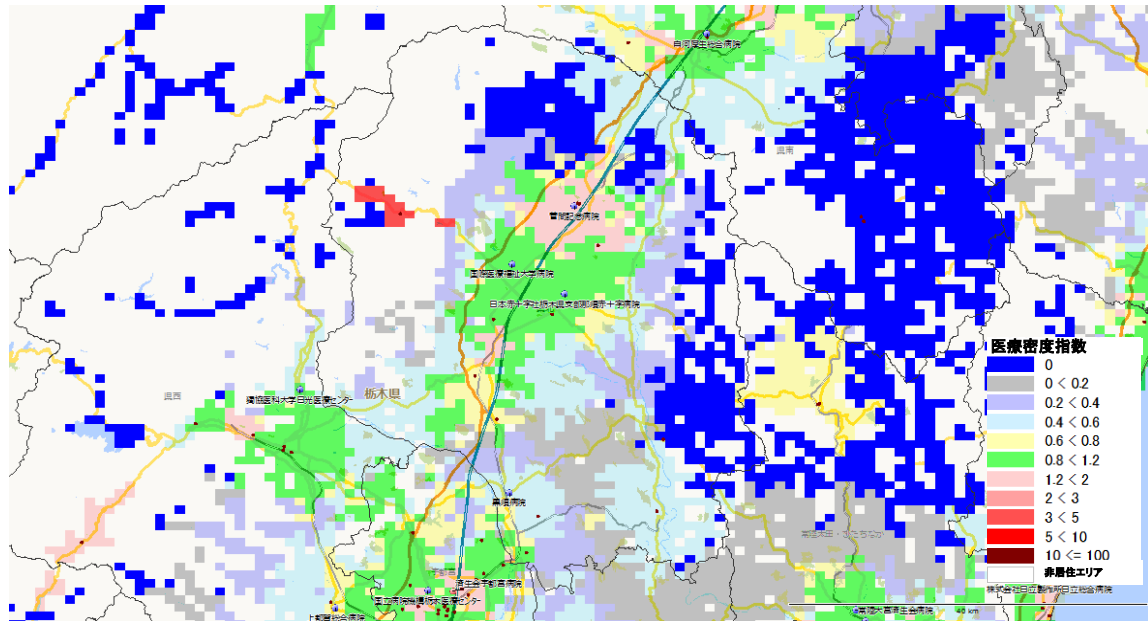
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が946床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に812床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、134床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



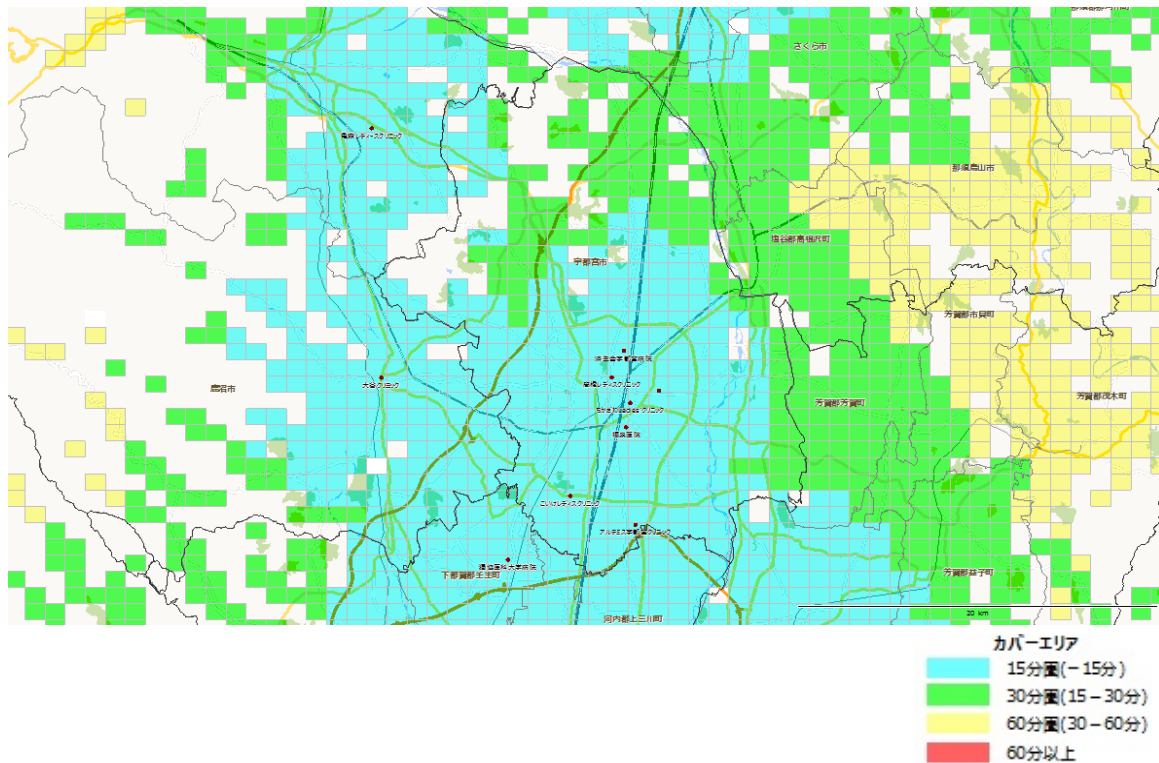
(県北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)

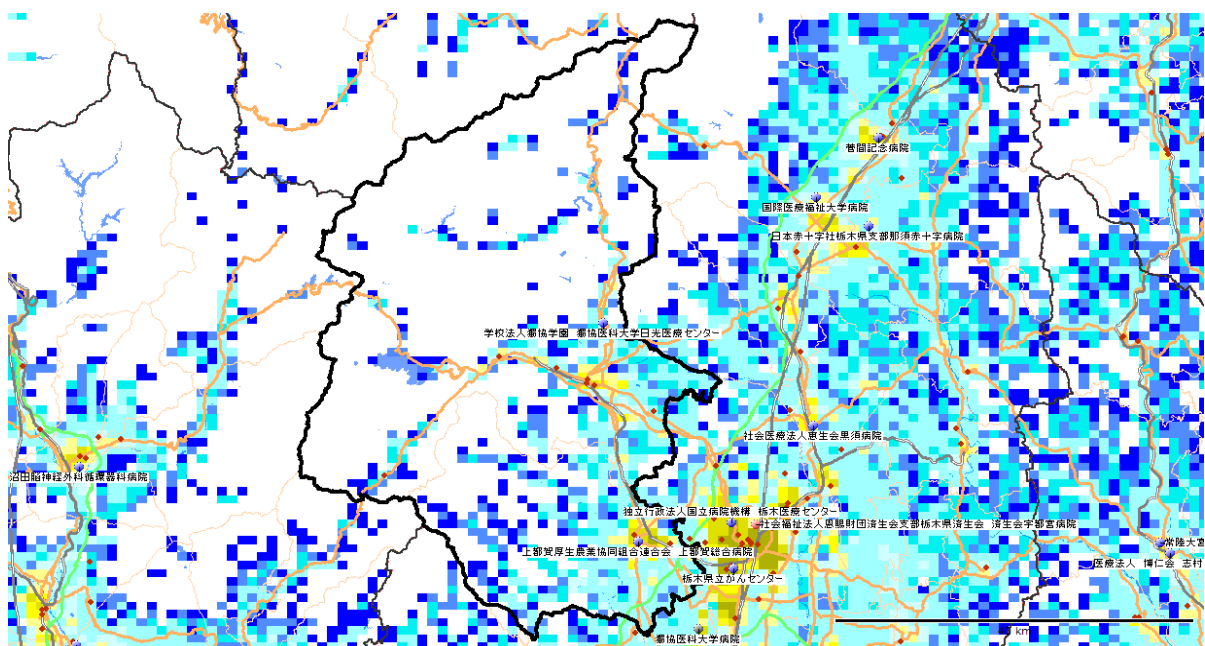


9-2. けんせい 県西医療圏

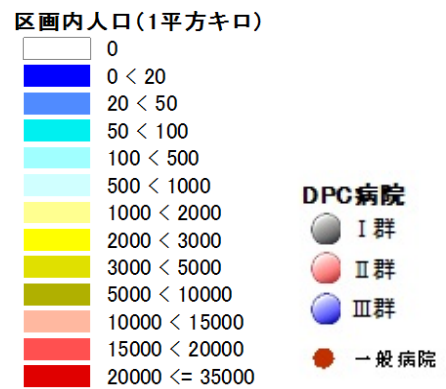
構成市区町村 [鹿沼市](#) [日光市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県西(鹿沼市)は、総人口約182千人(2015年)、面積1,940km²、人口密度は94人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に160千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に126千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は330千円(偏差値46)、介護給付費は224千円(偏差値42)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数38、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が500例以上の獨協医科大学日光医療センター(Ⅲ群)、上都賀総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値40と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,456人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,796床(偏差値55)、高齢者住宅等が660床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,082人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム44、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、186人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県西医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年198,439人が、2015年に181,760人と8%減少し、2025年の人口が160,047人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

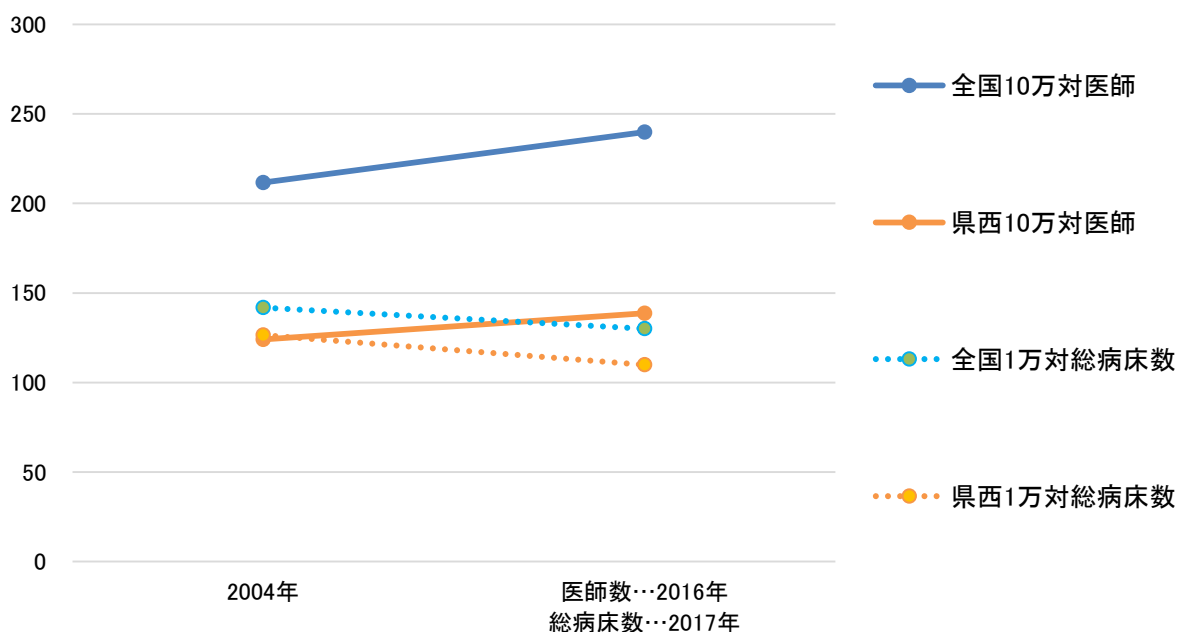
2004年の病院数が12(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に11(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が107(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2017年に117(人口10万人当たり64診療所(全国平均80)偏差値42)と、10診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,510床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に1,998床(人口1万人当たり110(全国平均130)偏差値46)と、512床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

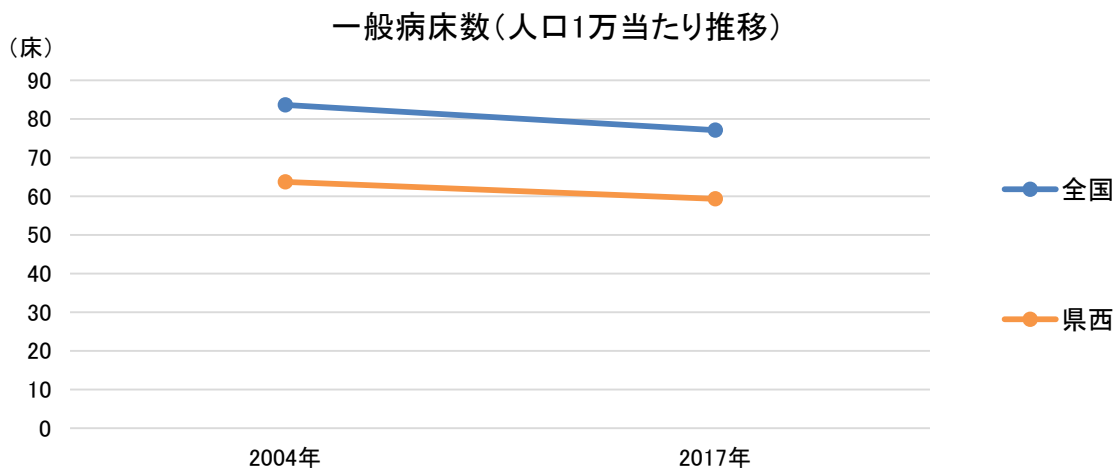
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が246人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に252人(人口10万人当たり139人(全国平均240人)偏差値39)と、6人の増加、率にして2%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



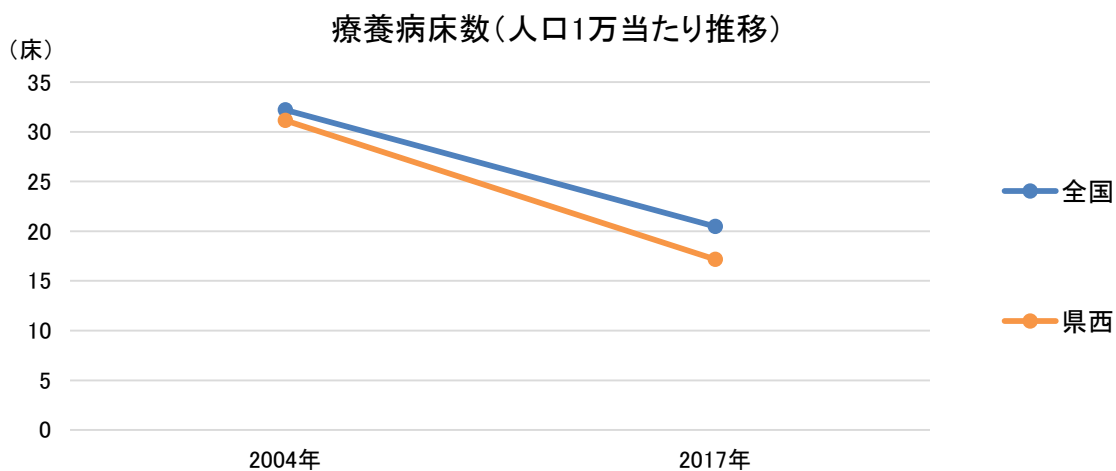
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,264床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に1,078床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、186床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



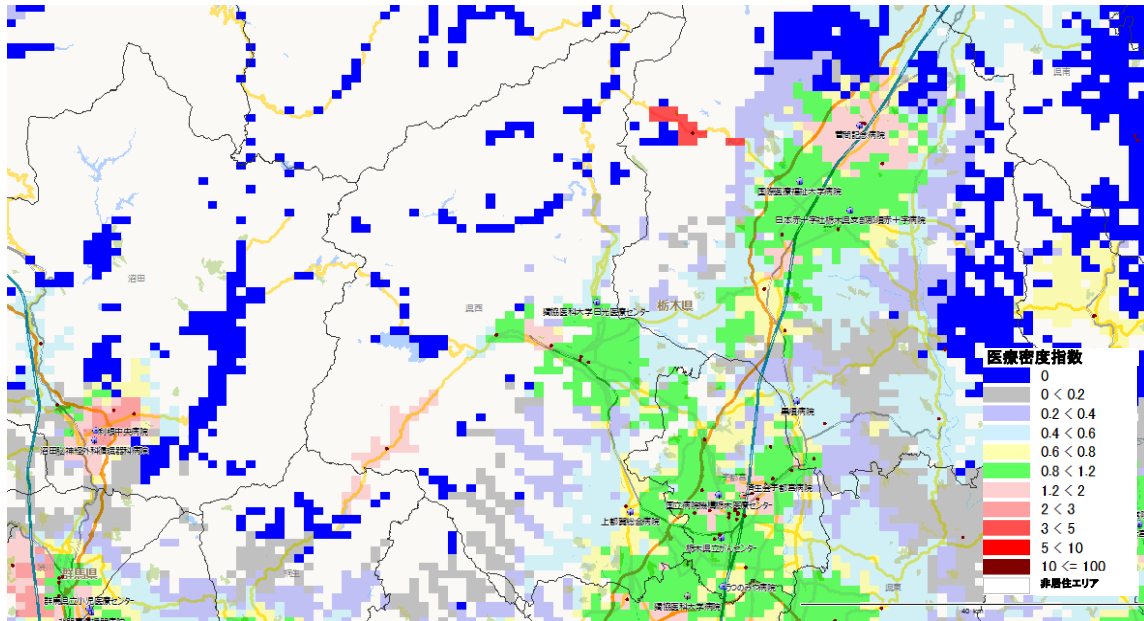
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が686床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に460床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、226床の減少、率にして33%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



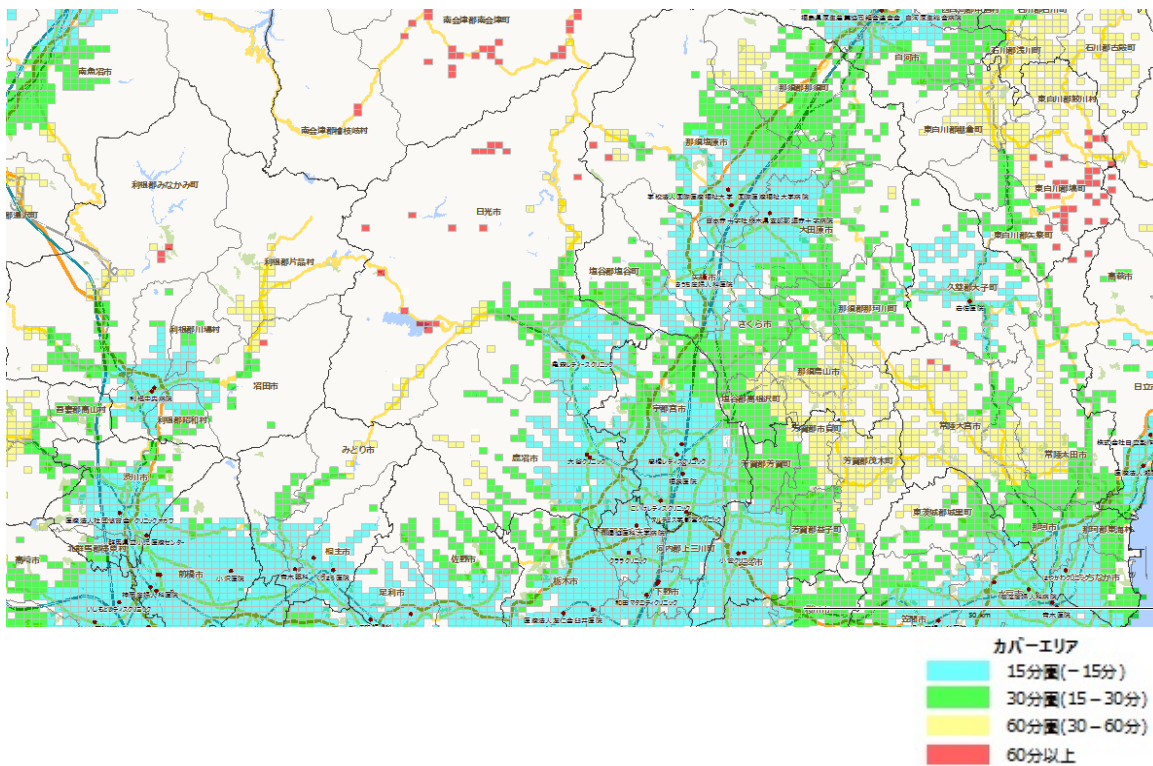
(県西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関 (病院と有床診療所) への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの (「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400))

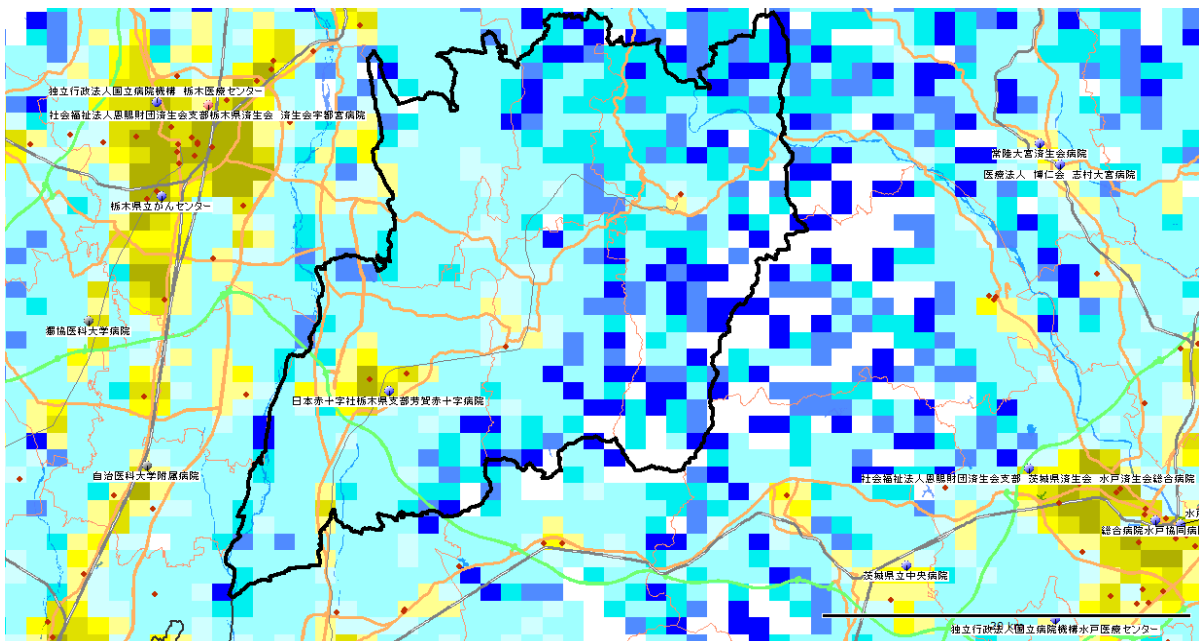


9-3. けんとう 県東医療圏

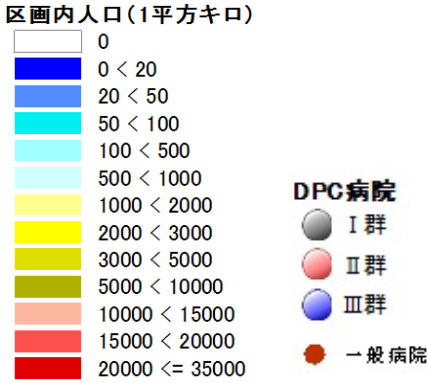
構成市区町村 [真岡市](#) [益子町](#) [茂木町](#) [市貝町](#)
[芳賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(県東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県東(真岡市)は、総人口約143千人(2015年)、面積564km²、人口密度は253人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県東の総人口は2025年に128千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に104千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には26千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県東の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値40)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県東の一人当たり急性期医療密度指数は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数34、診療所医師数44)と、総医師数、診療所医師数は少なく、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。県東には、年間全身麻酔件数が500例以上の芳賀赤十字病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は偏差値39と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,598人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,163床(偏差値52)、高齢者住宅等が435床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,398人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、86人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県東医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県東医療圏の総人口は、2005年153,253人が、2015年に142,917人と7%減少し、2025年の人口が128,333人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

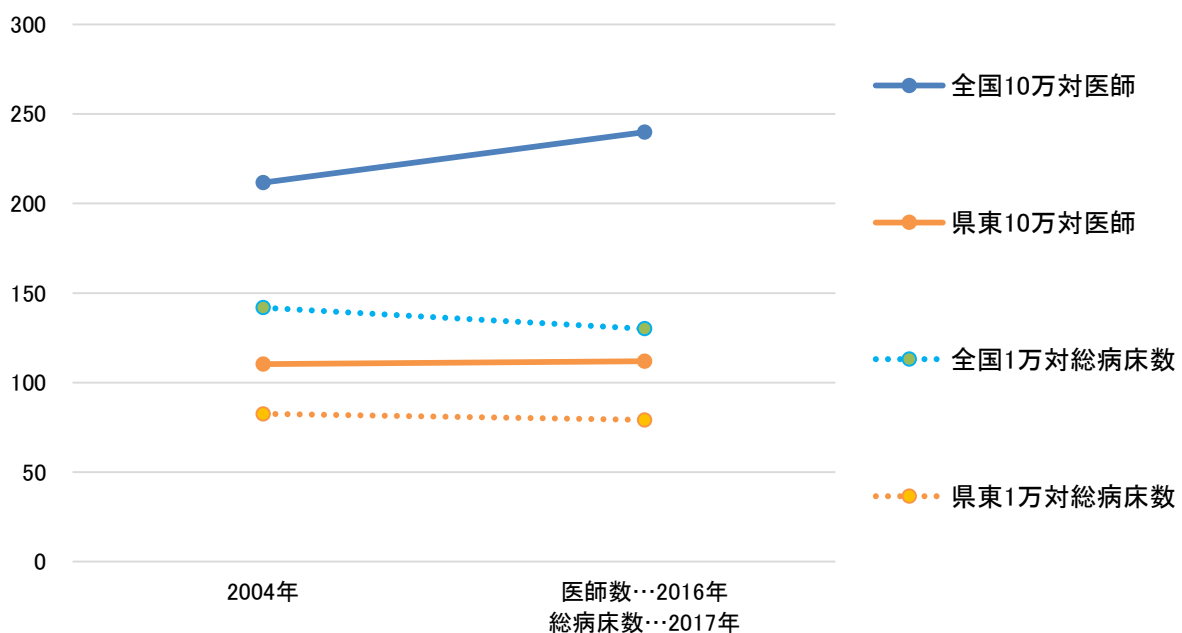
2004年の病院数が5(人口10万人当たり3.3病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2017年に31(人口10万人当たり21.7病院(全国平均6.6)偏差値83)となり、13年間で26病院が増加した。

2004年の診療所数が93(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2017年に99(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,264床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2017年に1,131床(人口1万人当たり79(全国平均130)偏差値41)と、133床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

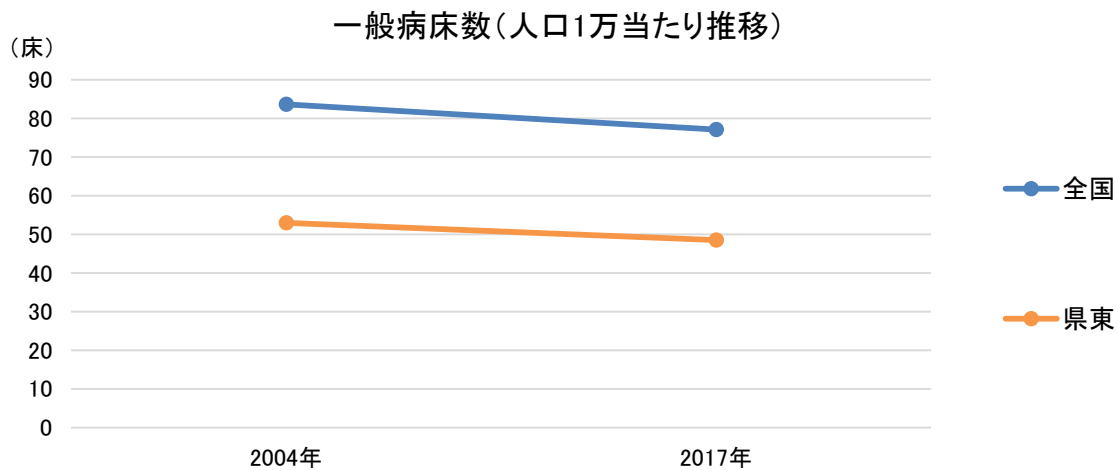
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が169人(人口10万人当たり110人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2016年に160人(人口10万人当たり112人(全国平均240人)偏差値36)と、9人の減少、率にして5%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



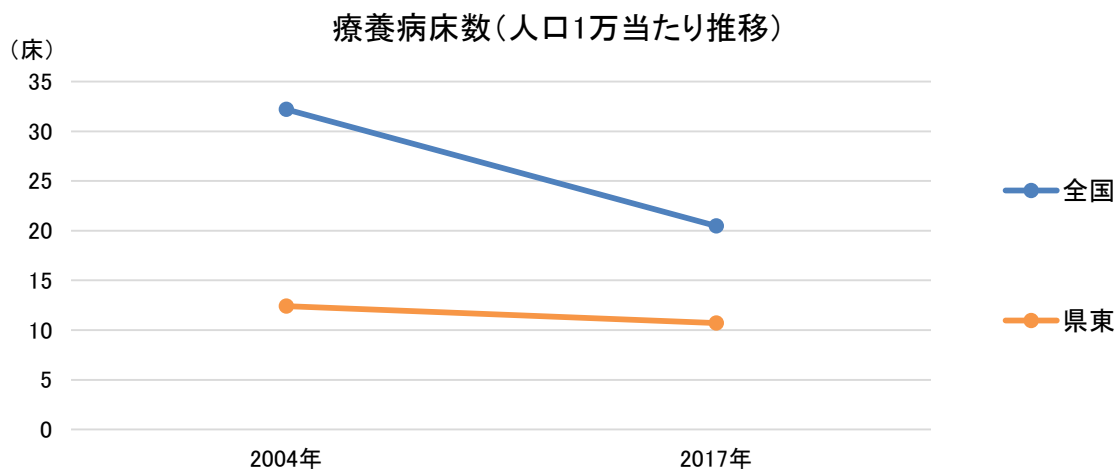
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が812床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2017年に693床(人口1万人当たり48(全国平均77)偏差値39)と、119床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



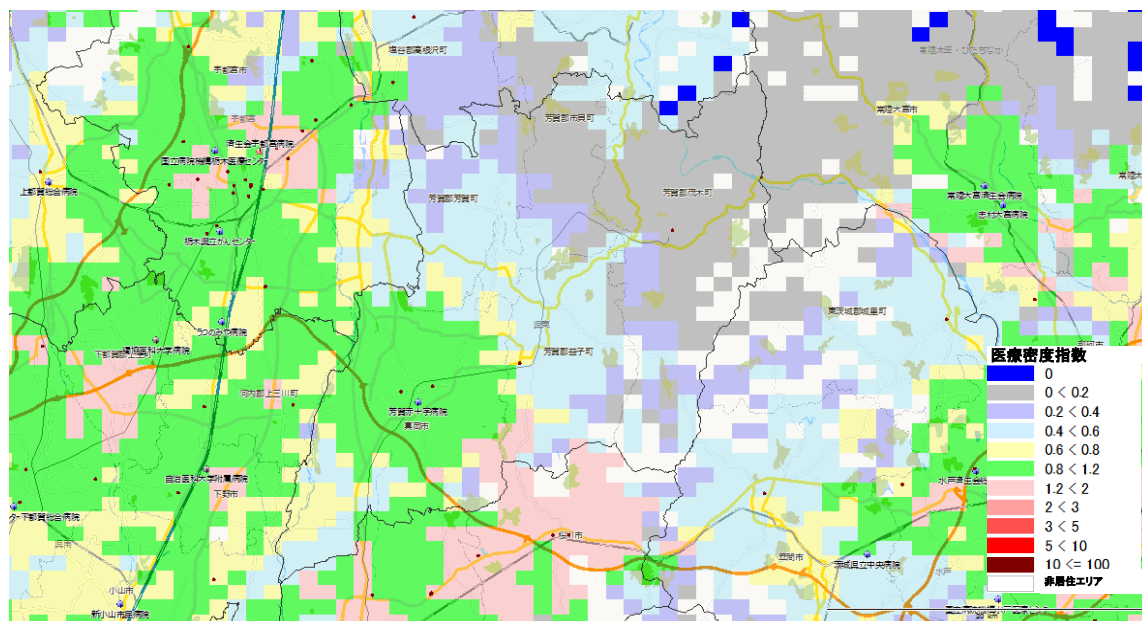
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が197床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に197床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。



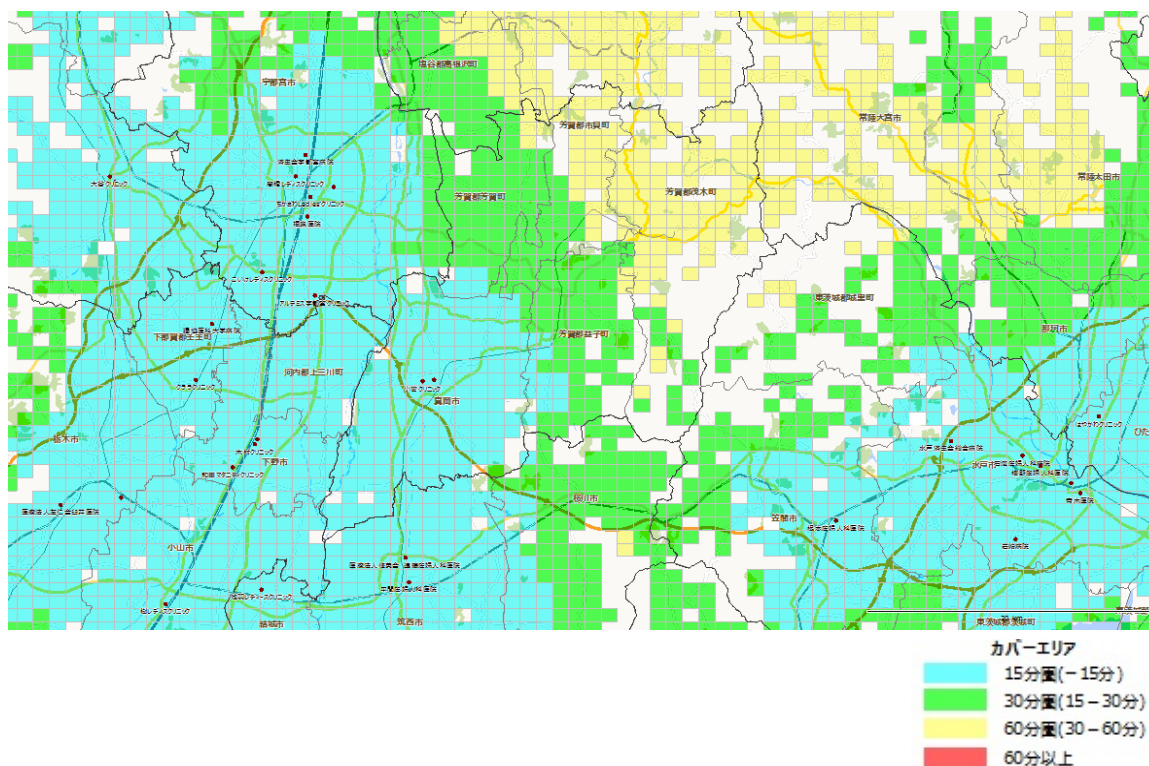
(県東医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

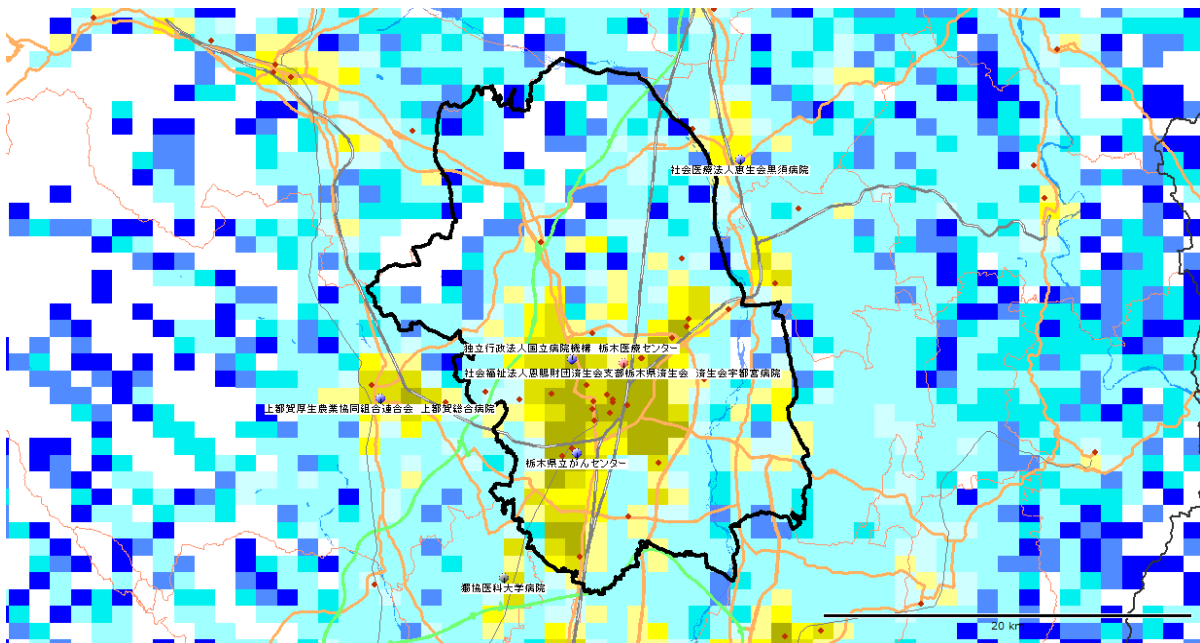


9-4. うつのみや 宇都宮医療圏

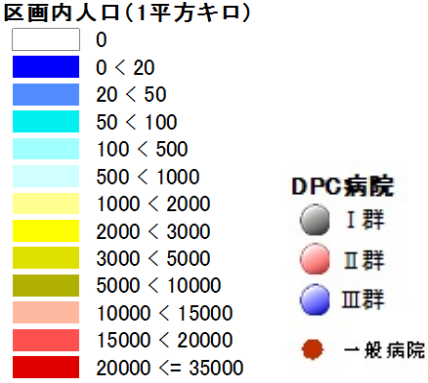
構成市区町村 [宇都宮市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(宇都宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇都宮(宇都宮市)は、総人口約519千人(2015年)、面積417km²、人口密度は1,244人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇都宮の総人口は2025年に521千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に495千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の53千人が、2025年にかけて77千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇都宮の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値45)、介護給付費は207千円(偏差値37)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇都宮の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は0.91で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数55)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。宇都宮には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会宇都宮病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上のNH0栃木医療センター(Ⅲ群)、栃木県立がんセンター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇都宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,517人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,199床(偏差値49)、高齢者住宅等が2,318床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,757人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム41、軽費ホーム77、グループホーム41、サ高住64である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、716人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-55%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宇都宮医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宇都宮医療圏の総人口は、2005年502,396人が、2015年に518,594人と3%増加し、2025年の人口が520,882人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

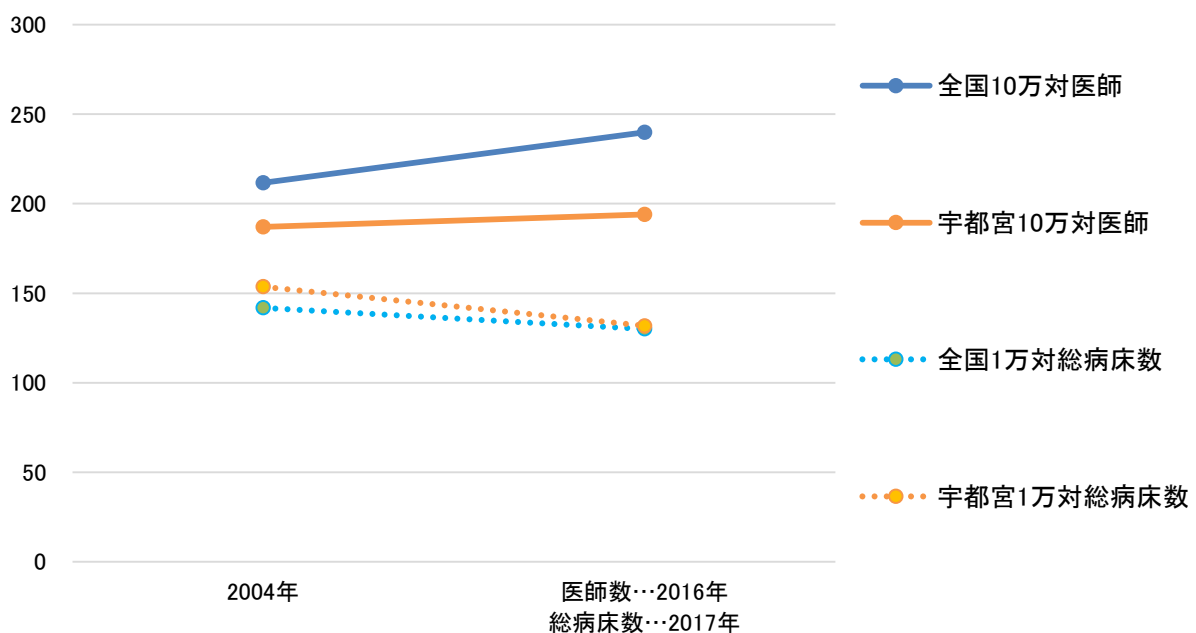
2004年の病院数が34(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2017年に5(人口10万人当たり1病院(全国平均6.6)偏差値38)となり、13年間で29病院が減少した。

2004年の診療所数が414(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に429(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、15診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,718床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に6,833床(人口1万人当たり132(全国平均130)偏差値50)と、885床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

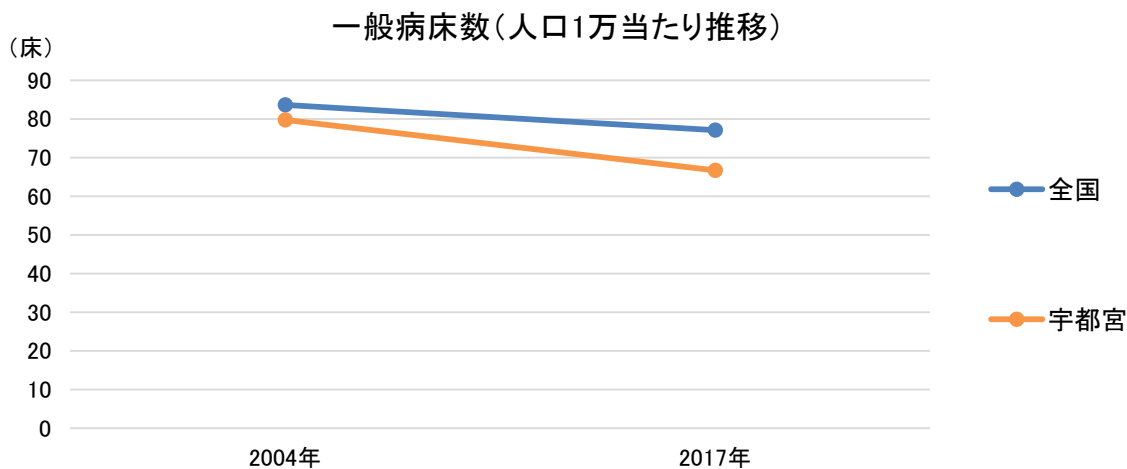
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が940人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に1,006人(人口10万人当たり194人(全国平均240人)偏差値45)と、66人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



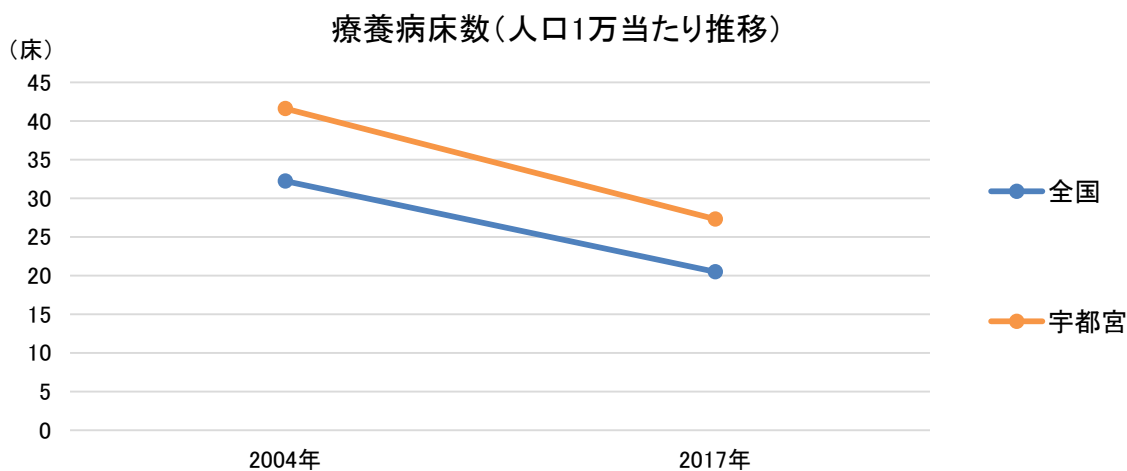
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,009床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2017年に3,459床(人口1万人当たり67(全国平均77)偏差値46)と、550床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



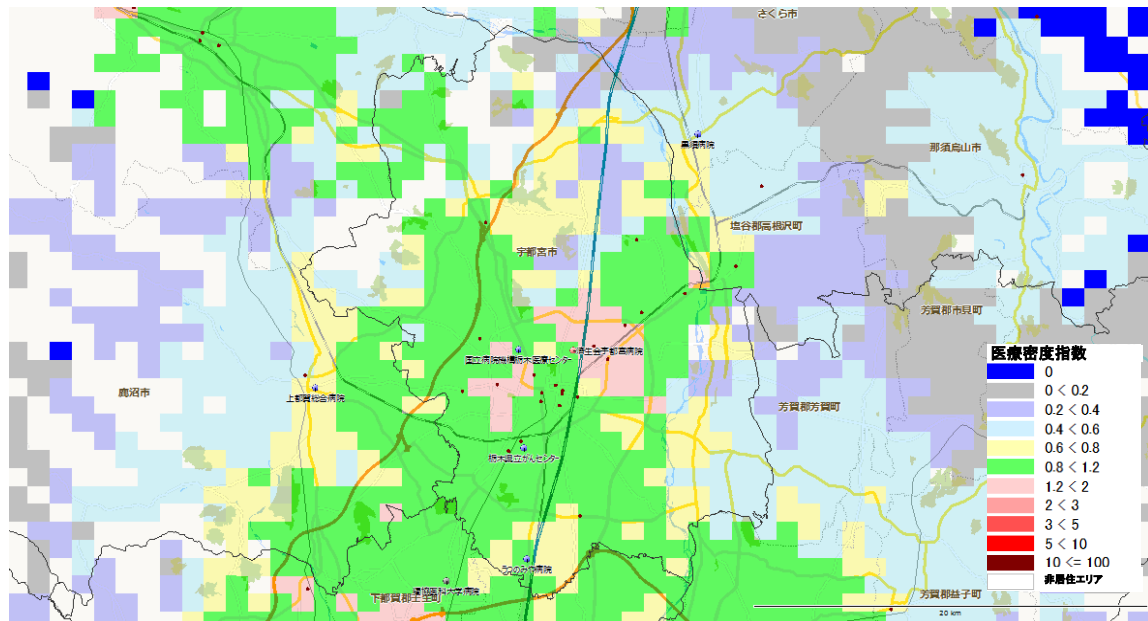
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,548床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2017年に1,458床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、90床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



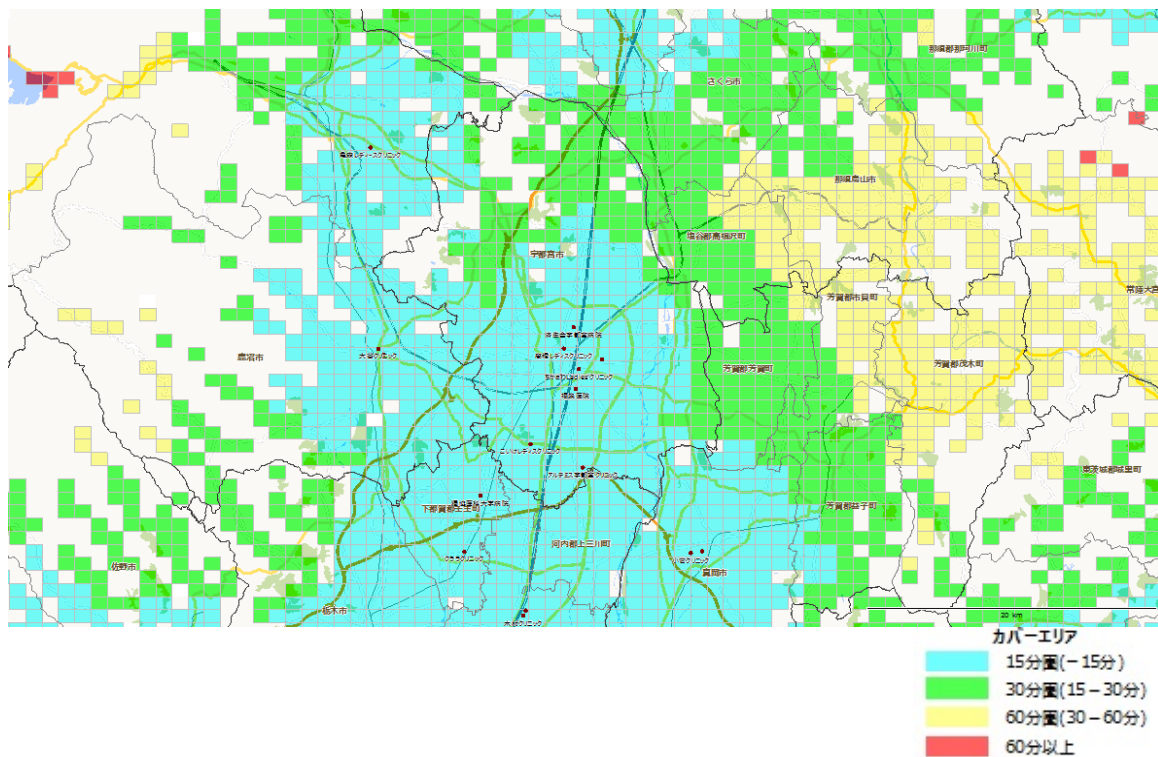
(宇都宮医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

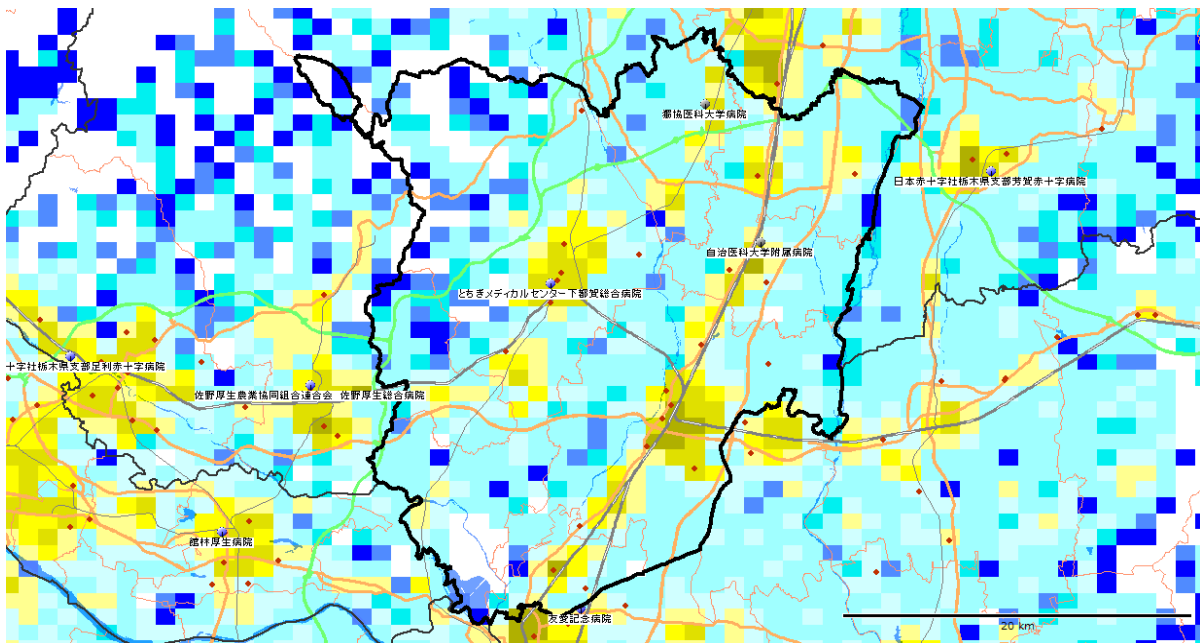


9-5. けんなん 県南医療圏

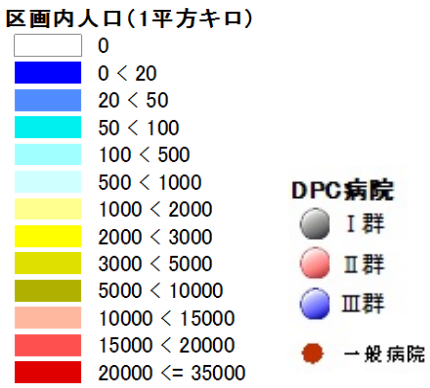
構成市区町村 [栃木市](#) [小山市](#) [下野市](#) [上三川町](#)
[壬生町](#) [野木町](#) [岩舟町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南(栃木市)は、総人口約482千人(2015年)、面積724km²、人口密度は666人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に464千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に417千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値44)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.75で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が66(病院医師数71、診療所医師数47)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。県南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学病院(I群・救命)、自治医科大学附属病院(I群・救命)、1000例以上のとちぎメディカルセンターしもつが(Ⅲ群)、500例以上の新小山市市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,340人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,486床(偏差値52)、高齢者住宅等が1,854床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,646人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム42、軽費ホーム52、グループホーム46、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、531人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年485,651人が、2015年に481,691人と1%減少し、2025年の人口が464,271人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

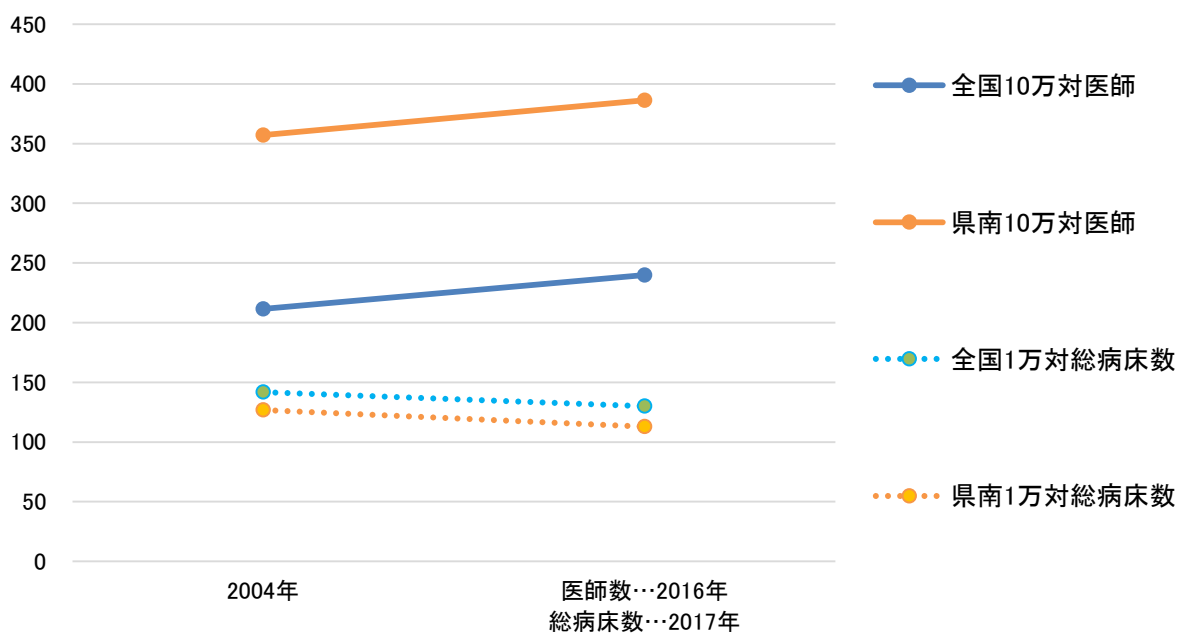
2004年の病院数が27(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に22(人口10万人当たり4.6病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が324(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に367(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、43診療所が増加した。

2004年の総病床数が6,163床(人口1万人当たり127(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に5,443床(人口1万人当たり113(全国平均130)偏差値47)と、720床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

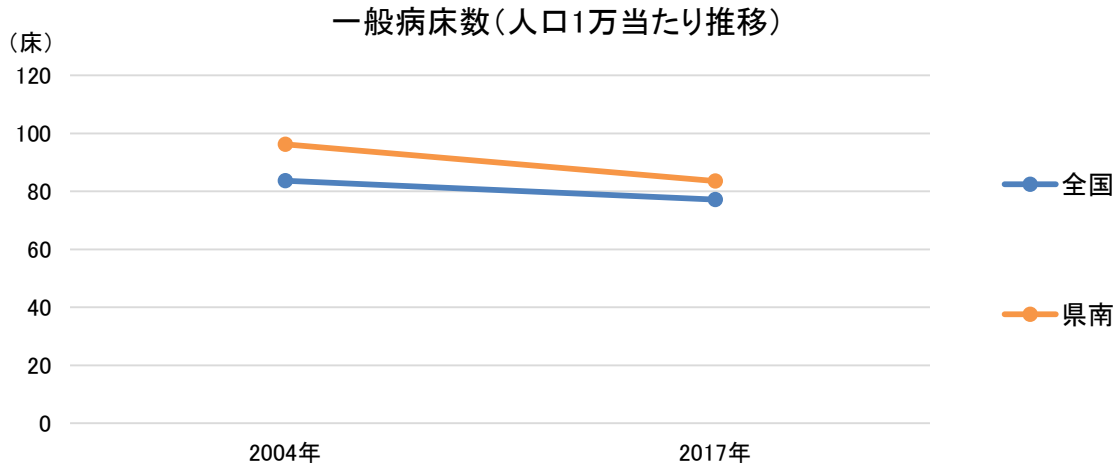
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,735人(人口10万人当たり357人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2016年に1,861人(人口10万人当たり386人(全国平均240人)偏差値66)と、126人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



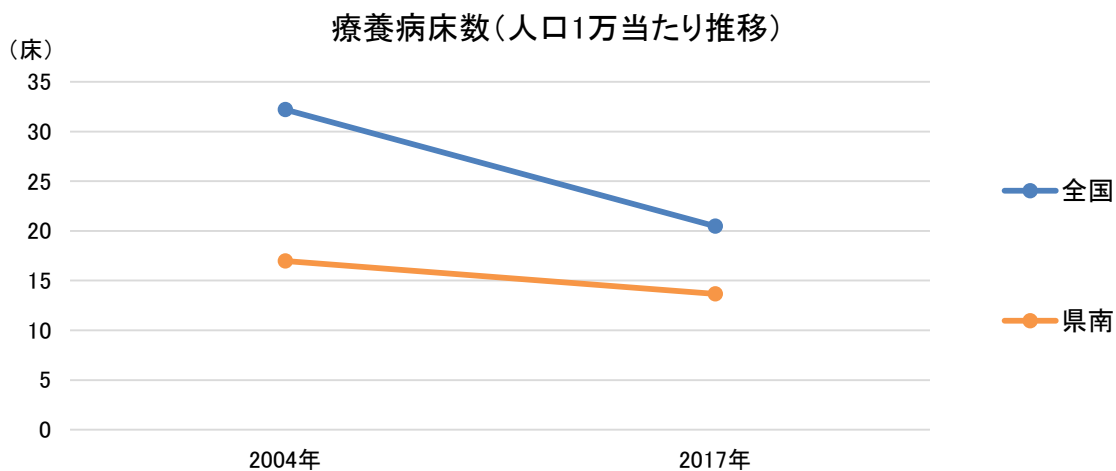
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,673床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2017年に4,026床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値52)と、647床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



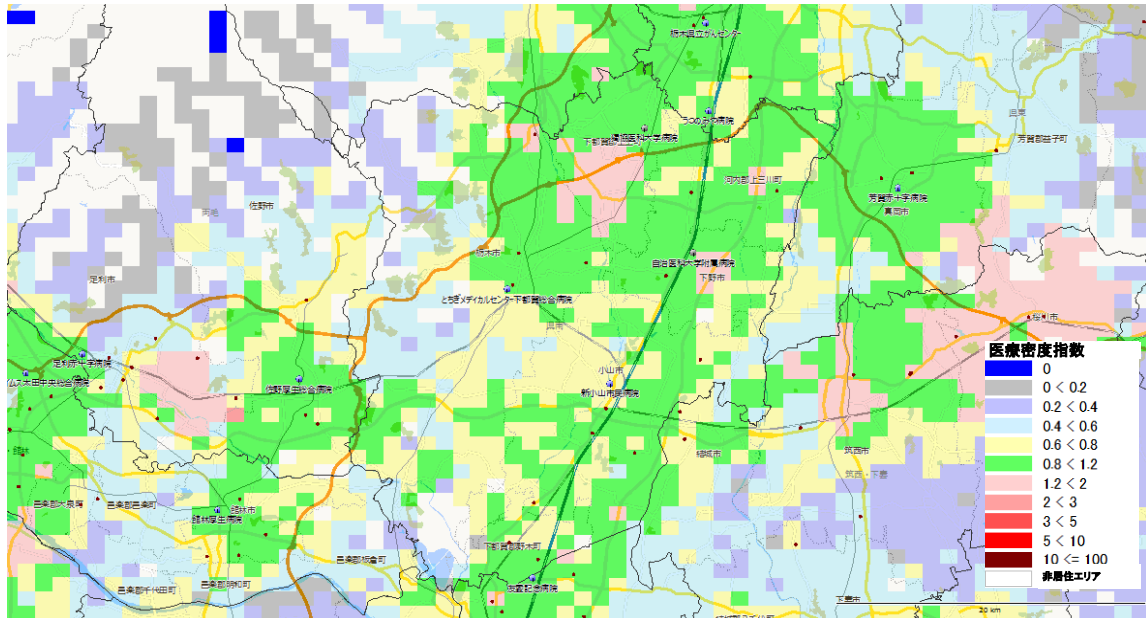
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が698床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に750床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、52床の増加、率にして7%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



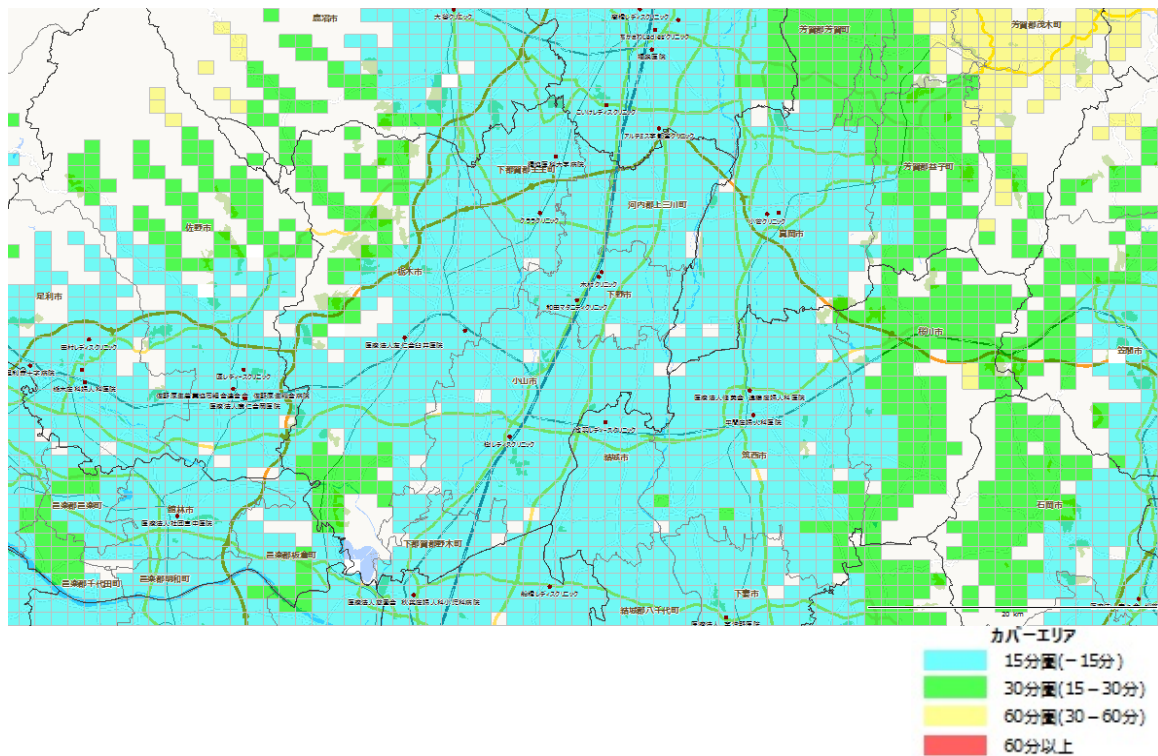
(県南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

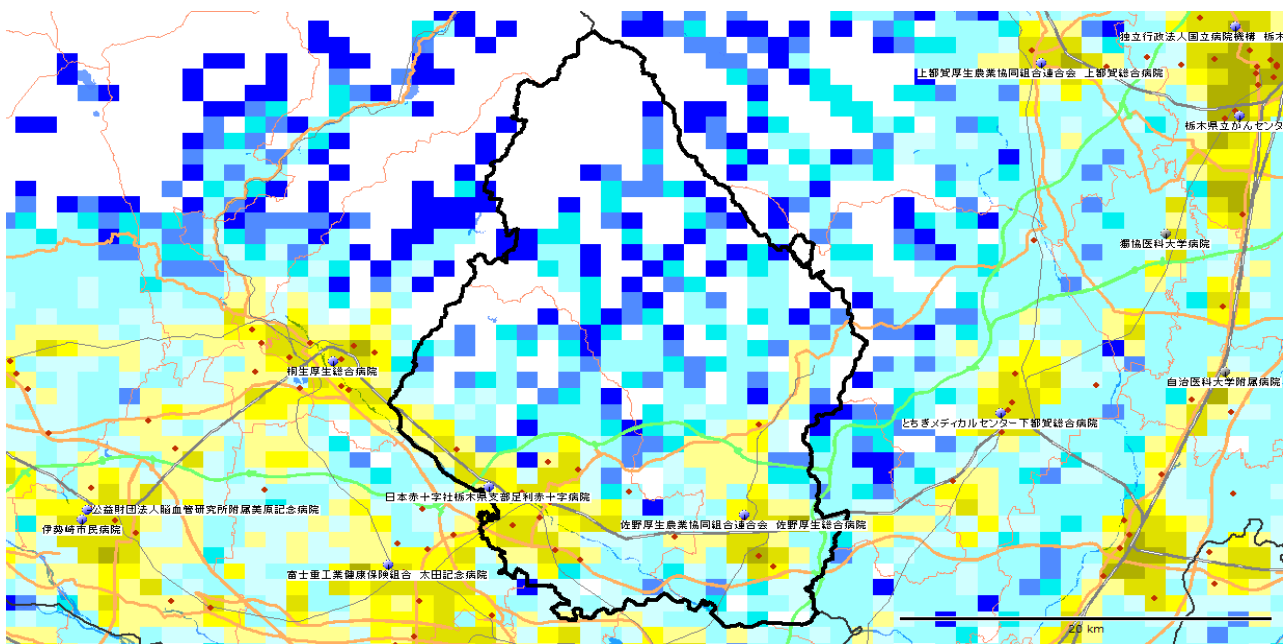


9-6. りょうもう 両毛医療圏

構成市区町村 [足利市](#) [佐野市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(両毛医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 両毛(足利市)は、総人口約268千人(2015年)、面積534km²、人口密度は503人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 両毛の総人口は2025年に248千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に210千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて48千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 両毛の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値42)、介護給付費は237千円(偏差値46)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 両毛の一人当たり急性期医療密度指数は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。両毛には、年間全身麻酔件数が2000例以上の足利赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の佐野厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 両毛の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,412人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,072床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,340床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,164人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム43、軽費ホーム55、グループホーム45、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、380人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(両毛医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

両毛医療圏の総人口は、2005年283,682人が、2015年に268,371人と5%減少し、2025年の人口が247,797人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

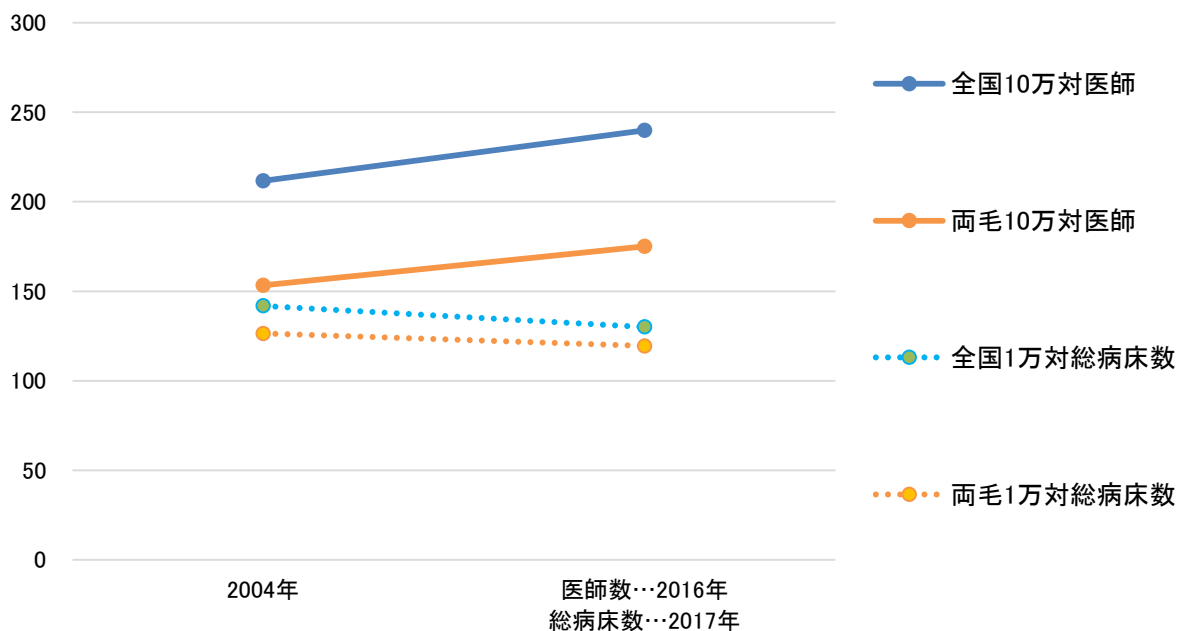
2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に17(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が198(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に204(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,586床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に3,206床(人口1万人当たり119(全国平均130)偏差値48)と、380床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

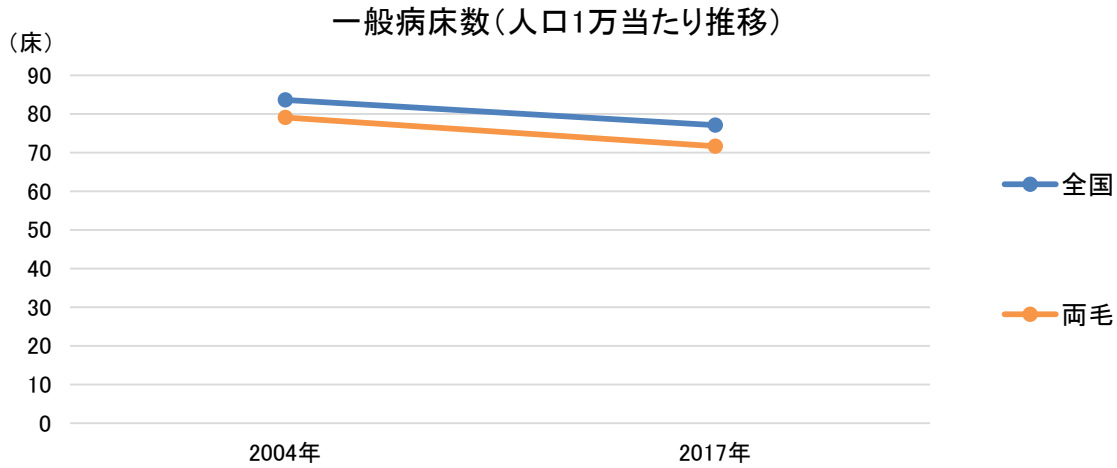
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が435人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に470人(人口10万人当たり175人(全国平均240人)偏差値43)と、35人の増加、率にして8%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



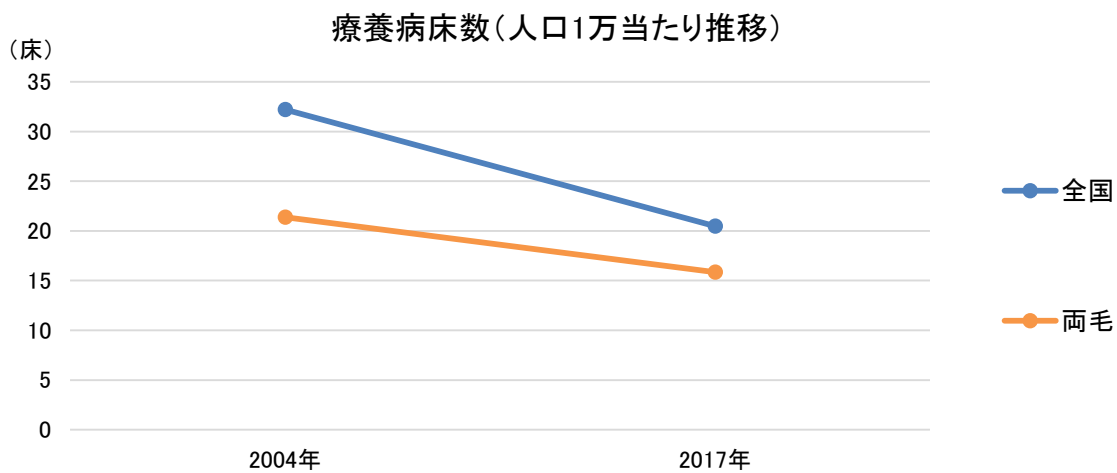
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,243床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2017年に1,923床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、320床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



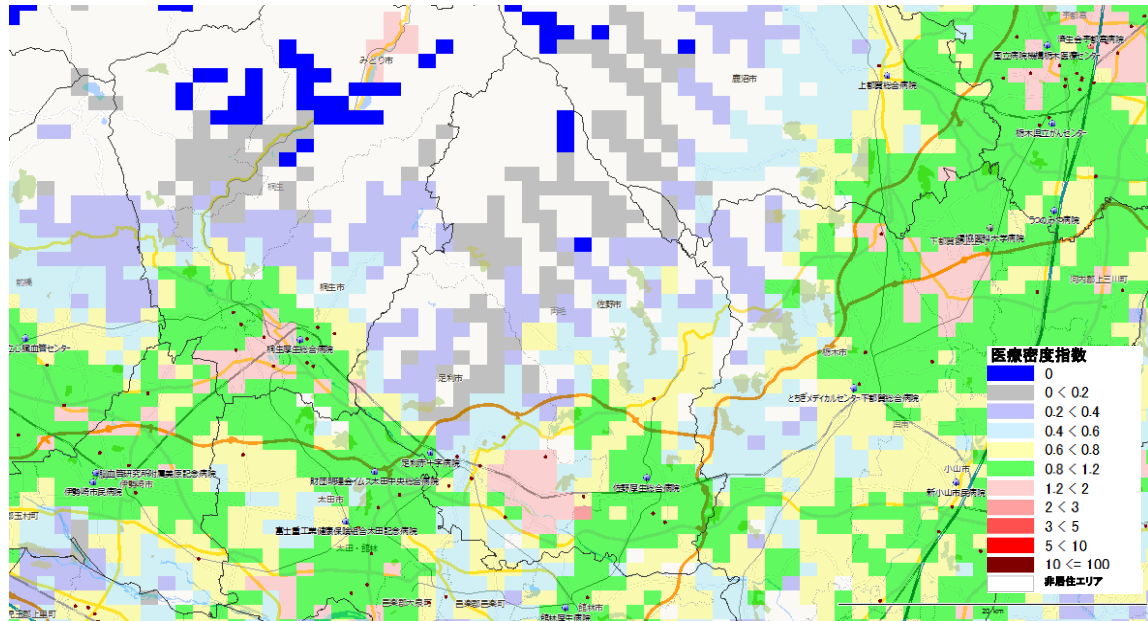
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が615床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に590床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、25床の減少、率にして4%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(両毛医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-6-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関 (病院と有床診療所) への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの (「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400))

